

「男女共同参画」に関する市政モニター調査結果

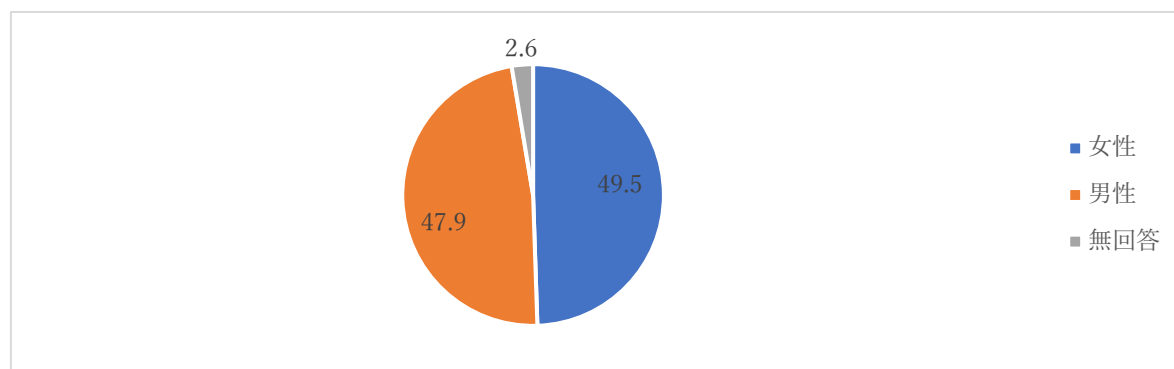
【実施期間】 令和3年5月21日（金）～令和3年6月21日（月）

【アンケート協力依頼者数】 453人

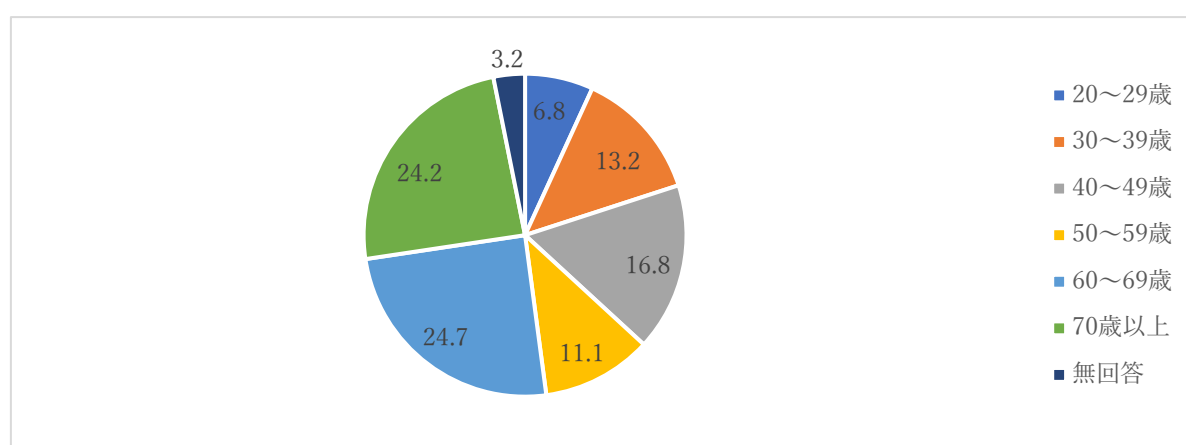
【回答者数】 190人（ネット回答 86人・郵送回答 104人）

【回答率】 41.94%回収票：郵送 104票、インターネット 86票 計 190票

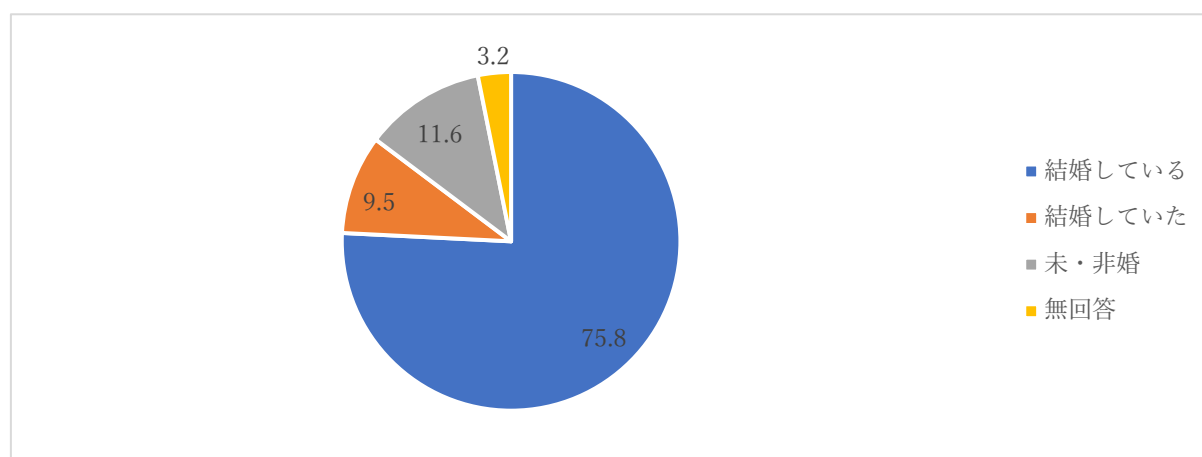
問1 あなたの性別をお答えください。（○は1つ）



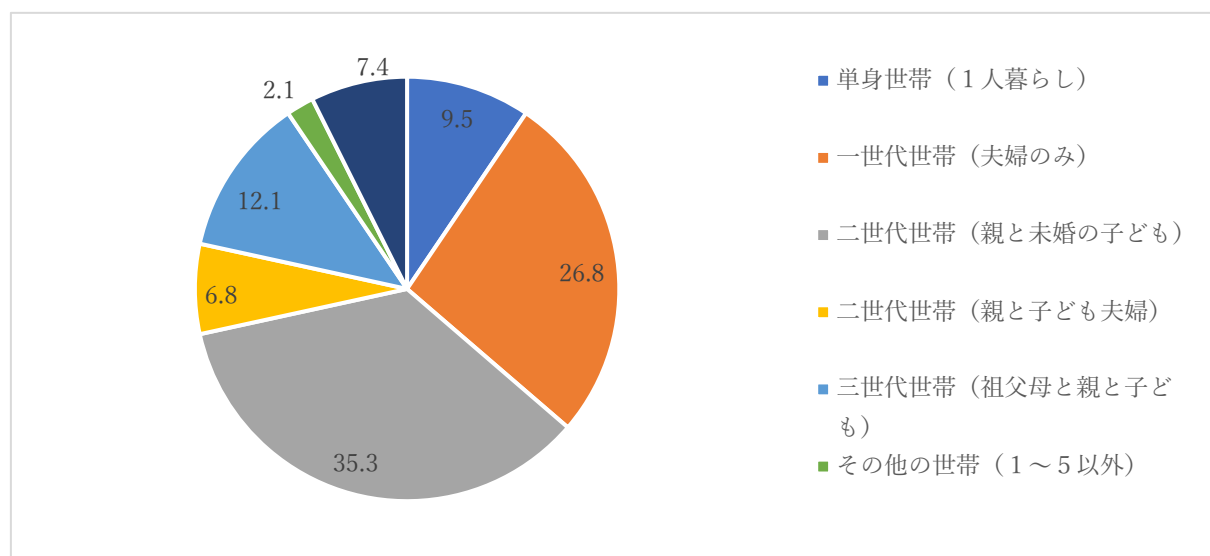
問2 あなたの年齢はおいくつですか。（○は1つ）（令和3年1月1日現在の満年齢）



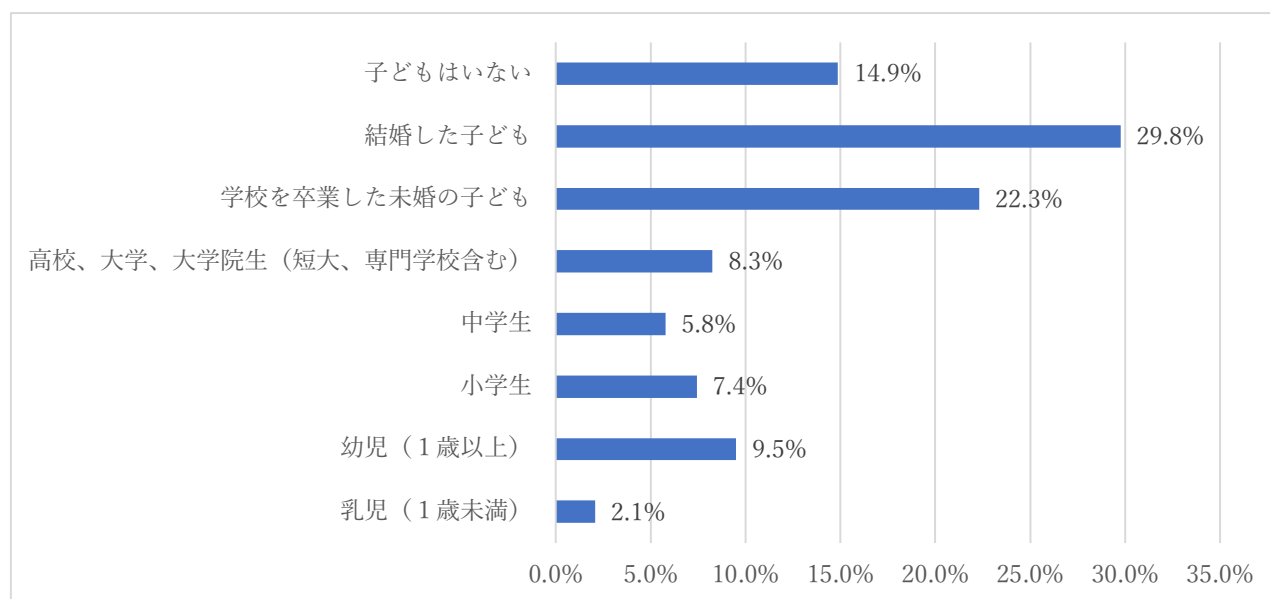
問3 あなたは結婚されていますか。（○は1つ）



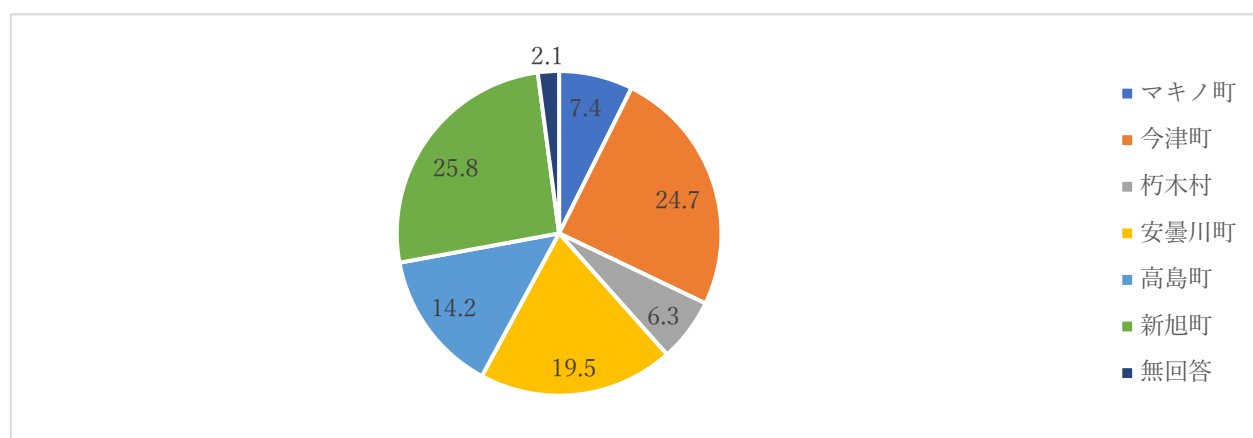
問4 あなたのご家族の家族構成はどれですか。(〇は1つ)



問5 あなたのお子さんの状況を選んでください。※別居しているお子さんも含めます。(〇はいくつでも)

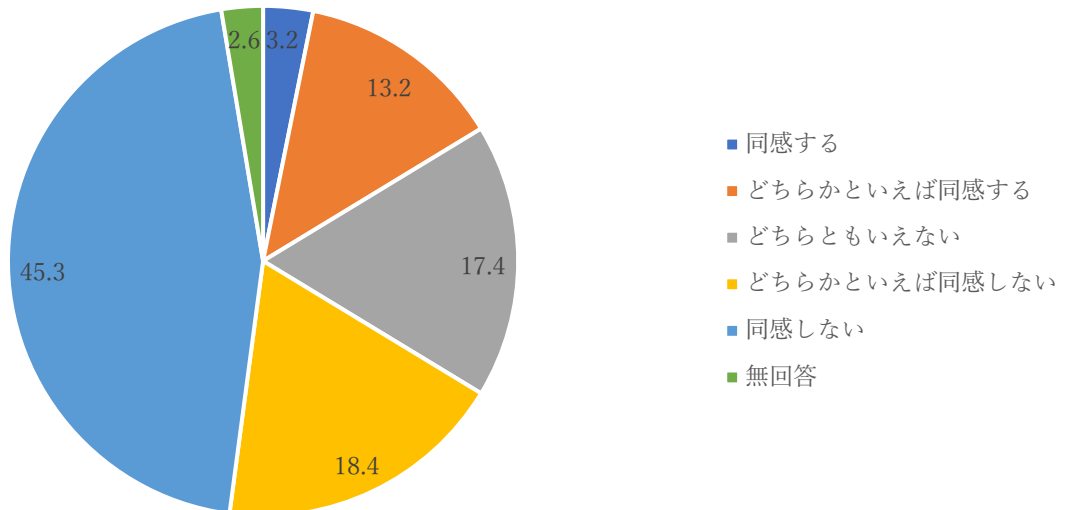


問6 あなたはどこにお住まいですか。(あてはまる旧町村名に〇)



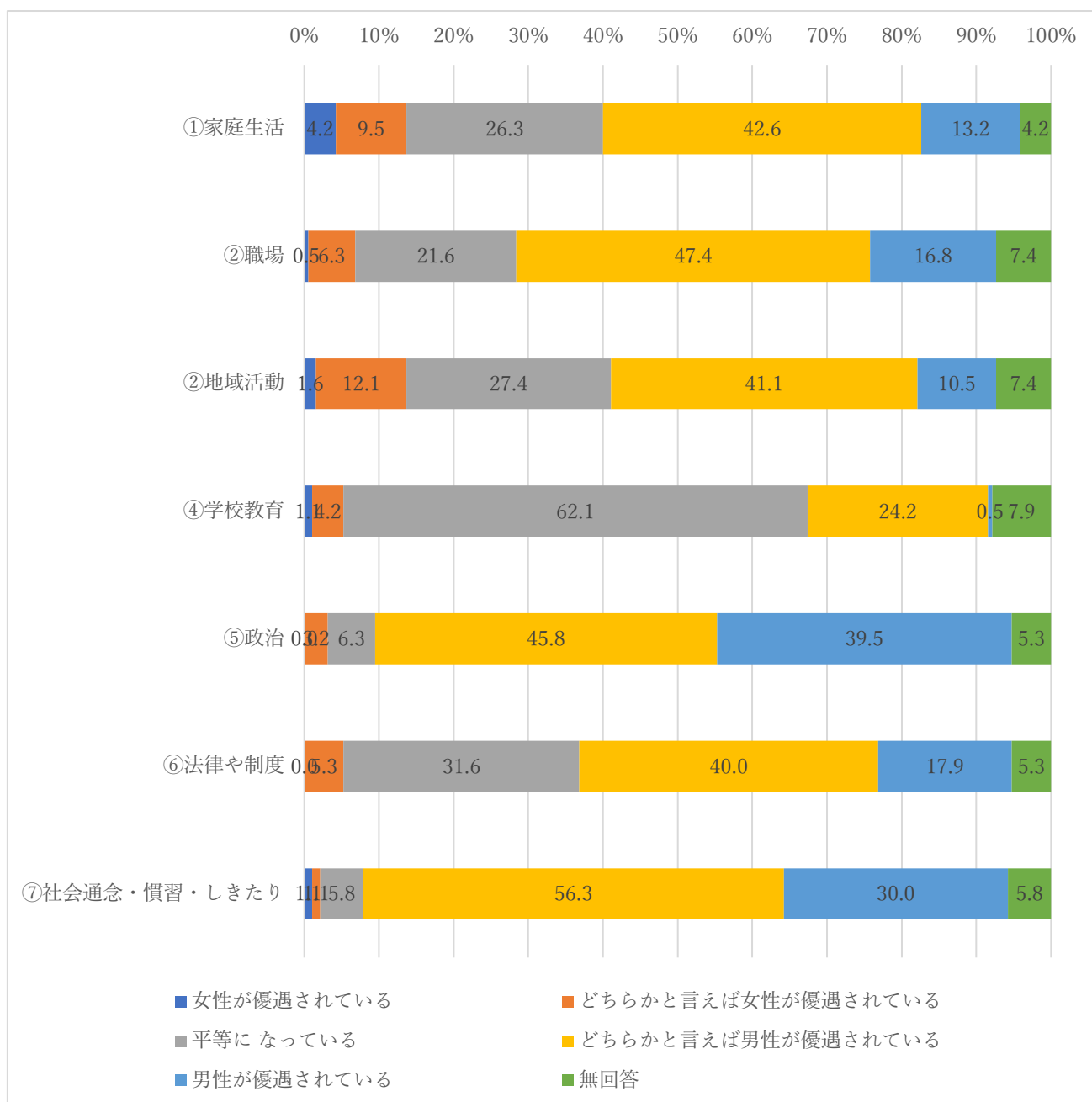
男女の平等についてお聞きします

問7 あなたは「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どう思われますか。(○は1つ)



問8 あなたは次の①～⑧の分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。(○はそれぞれに1つ)

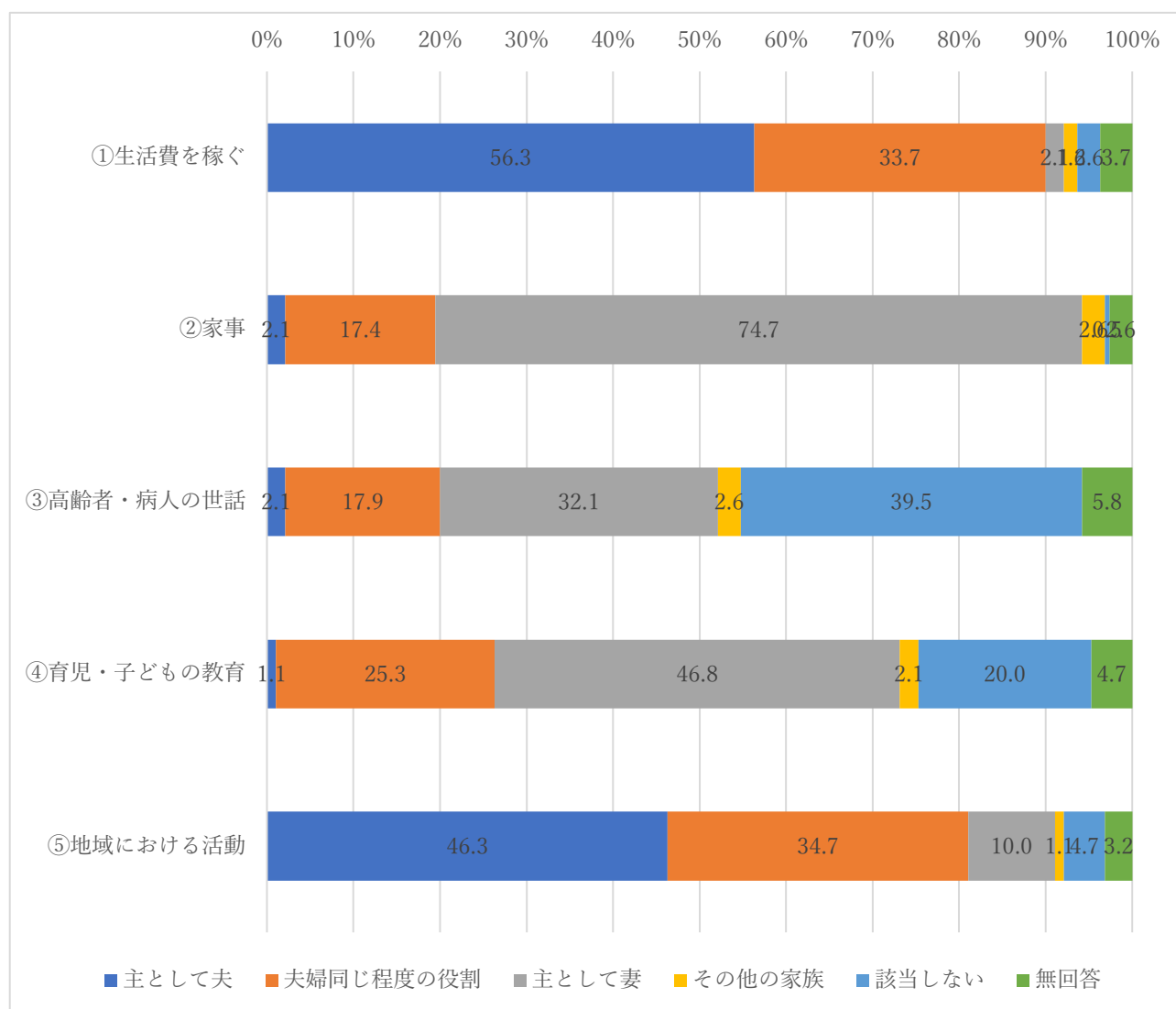
	女性が優遇 されている	どちらかと言 えれば女性が優 遇されている	平等に なっている	どちらかと言 えれば男性が優 遇されている	男性が優遇 されている
①家庭生活	1	2	3	4	5
②職場	1	2	3	4	5
③地域活動	1	2	3	4	5
④学校教育の場	1	2	3	4	5
⑤政治の場	1	2	3	4	5
⑥法律や制度の上	1	2	3	4	5
⑦社会通念・慣習・しきたりなど	1	2	3	4	5



家庭生活についてお聞きします

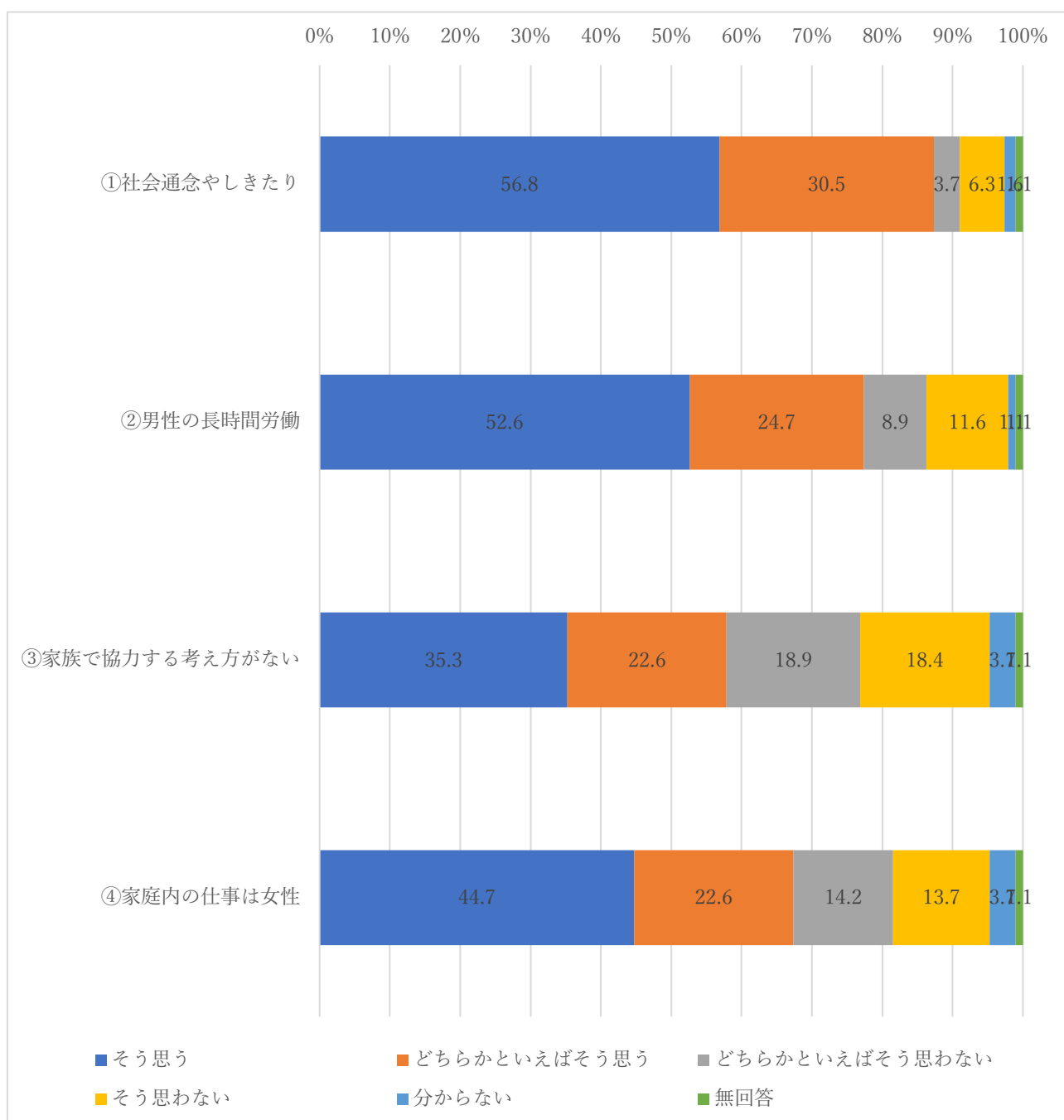
問9 次の「ことがら」について、あなたのご家庭では主にだれが行っていますか。
 (○はそれぞれに1つ)
 (配偶者のいない方は、次の日常的なことが誰の役割だと思われるかお答えください。)

	主として夫	夫婦同じ程度の役割	主として妻	族その他の家	該当しない
①生活費を稼ぐ	1	2	3	4	5
②家事（炊事・洗濯・掃除など）	1	2	3	4	5
③介護の必要な高齢者・病人の世話	1	2	3	4	5
④育児・子どもの教育	1	2	3	4	5
⑤地域における活動	1	2	3	4	5



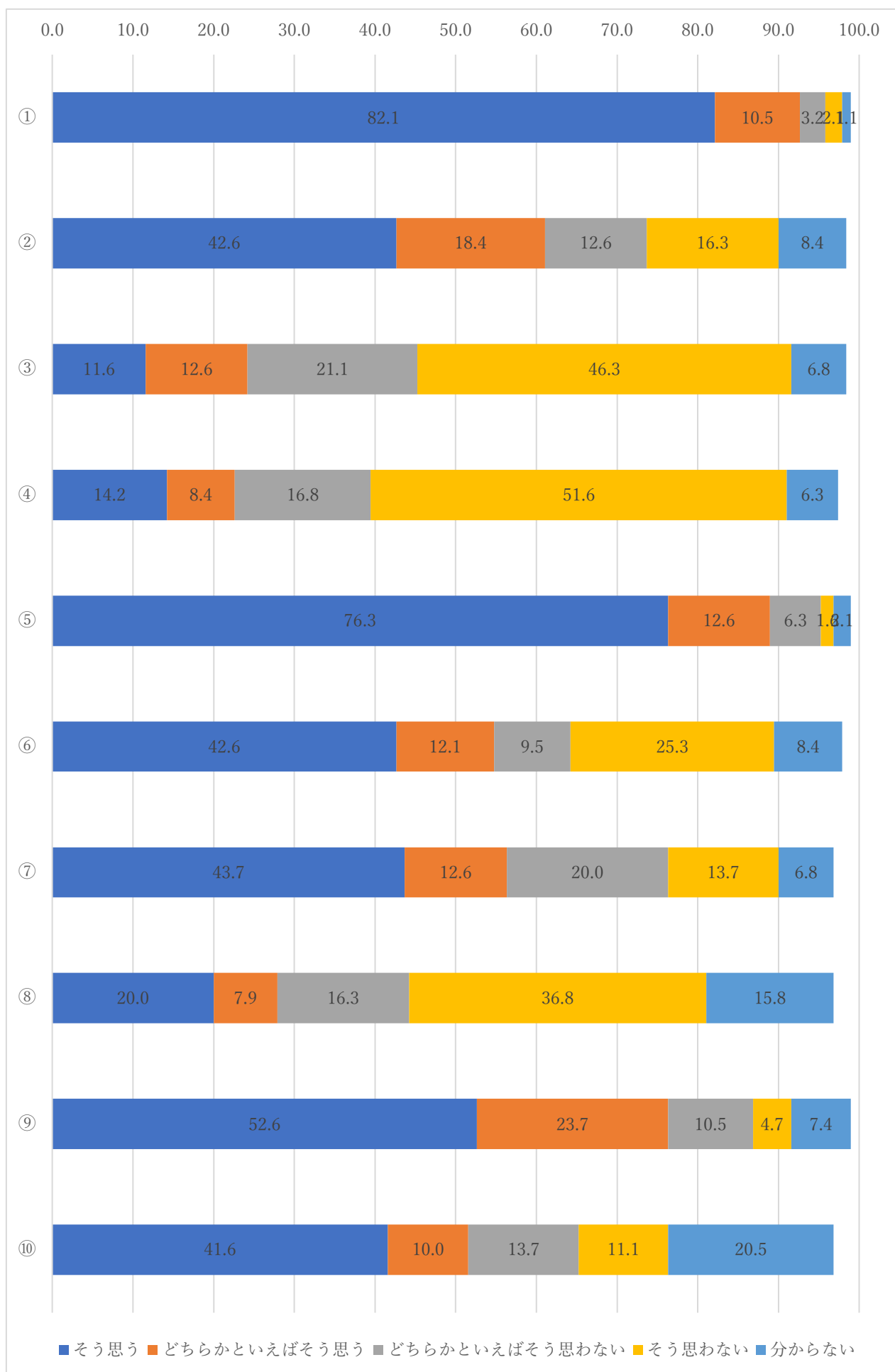
問10 男女に役割分担がある理由について、あなたはどのように思いますか。（○はそれぞれに1つ）

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
①男女の役割分担についての社会通念やしきたりがある	1	2	3	4	5
②男性は仕事で労働時間が長く、家庭にいる時間が少ない	1	2	3	4	5
③仕事と家庭を両立して家族で協力し合うという考え方が少ない	1	2	3	4	5
④家庭内の仕事をするのは女性であるという意識が強い	1	2	3	4	5



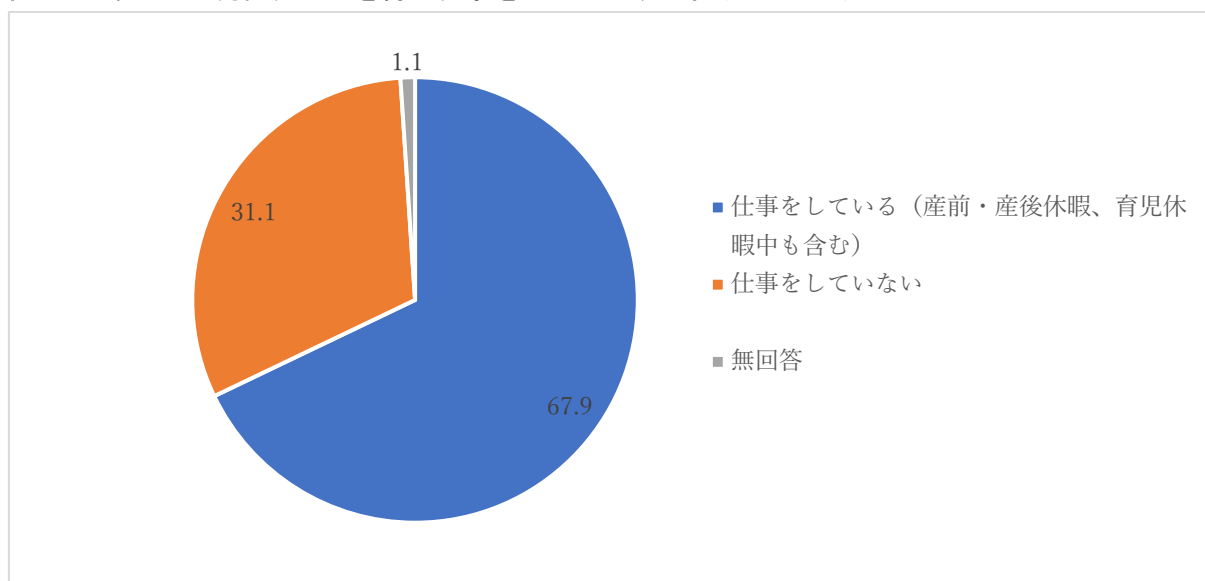
問11 以下の結婚や家族の役割について、あなたはどのように思いますか。（○はそれぞれに1つ）

	そう 思う	ど ち ら か と い え ば そ う 思 う	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い
①男女ともに外の仕事をしている場合は、家族で役割分担すればよい	1	2	3	4	5
②結婚しても夫婦間の愛情がなくなれば、離婚するのもやむを得ない	1	2	3	4	5
③女性の幸福は結婚にあるのだから、女性は結婚する方がよい	1	2	3	4	5
④結婚している人の方が仕事をする上で何かと信用できる	1	2	3	4	5
⑤家庭内の仕事は男女の役割意識にかかわらず家族で協力すればよい	1	2	3	4	5
⑥人間の性別は産まれたときに決定している	1	2	3	4	5
⑦結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない	1	2	3	4	5
⑧同性愛者の結婚は原則として認められない	1	2	3	4	5
⑨男性も収入を得る仕事だけでなく、家庭内の仕事をすればよい	1	2	3	4	5
⑩性に違和感を持つのであれば、性転換もやむを得ない	1	2	3	4	5



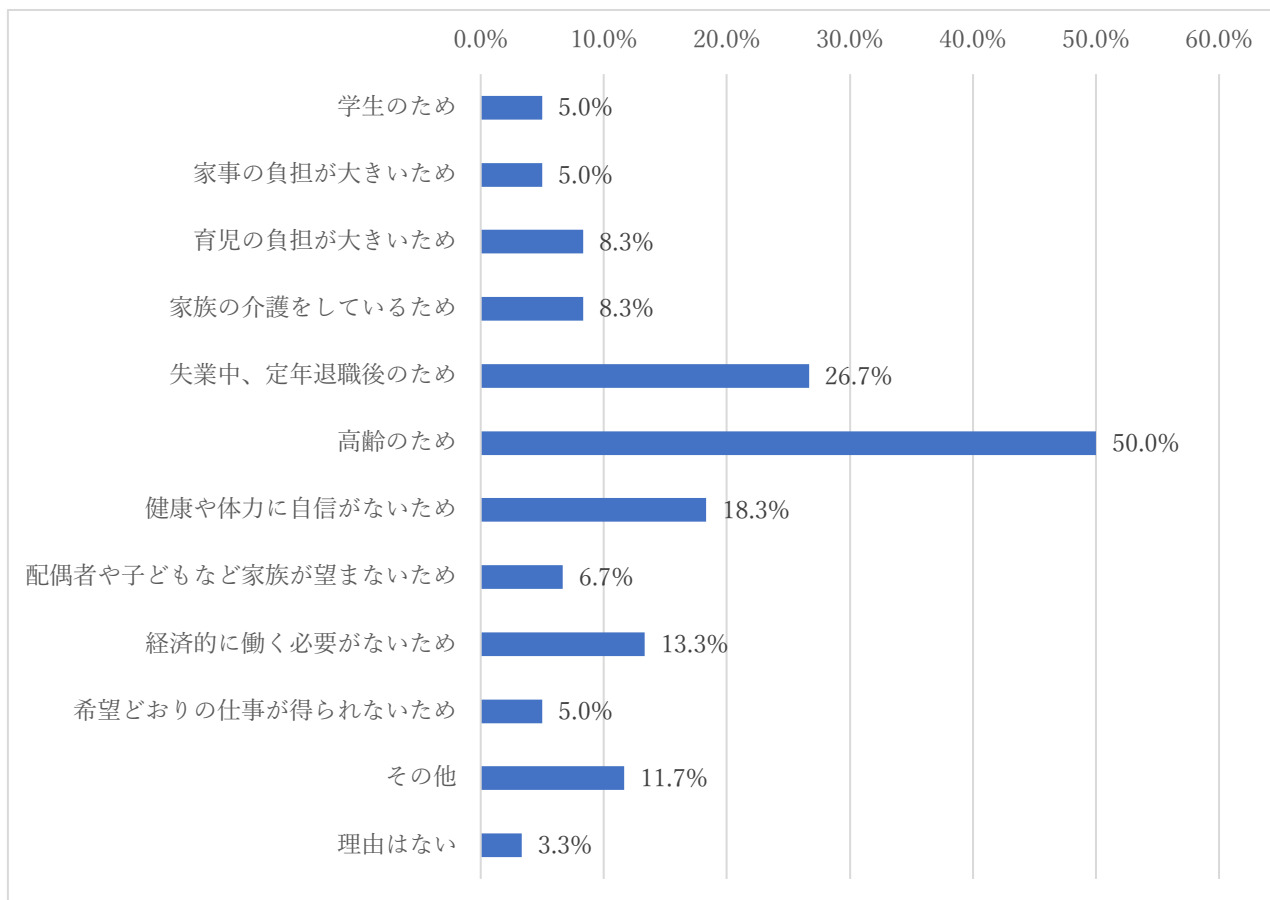
労働についてお聞きます

問 12 あなたは現在、収入を得る仕事をしていますか。(○は1つ)

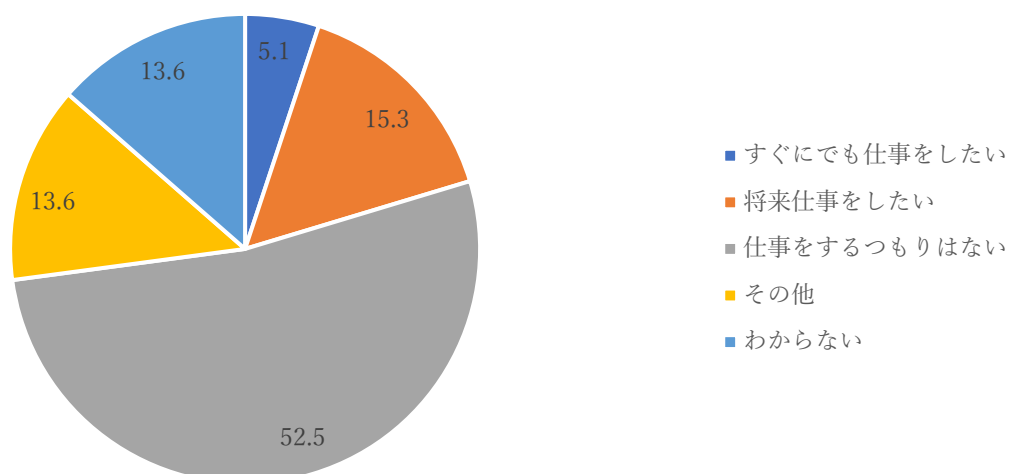


問

1. 学生のため
2. 家事の負担が大きい
3. 育児の負担が大きい
4. 家族の介護をしている
5. 失業中、定年退職後のため
6. 高齢のため
7. 健康や体力に自信がない
8. 配偶者や子どもなど家族が望まない
9. 経済的に働く必要がない
10. 家にいるのが当然だから
11. 希望どおりの仕事を得られない
12. その他（ ）
13. 理由はない

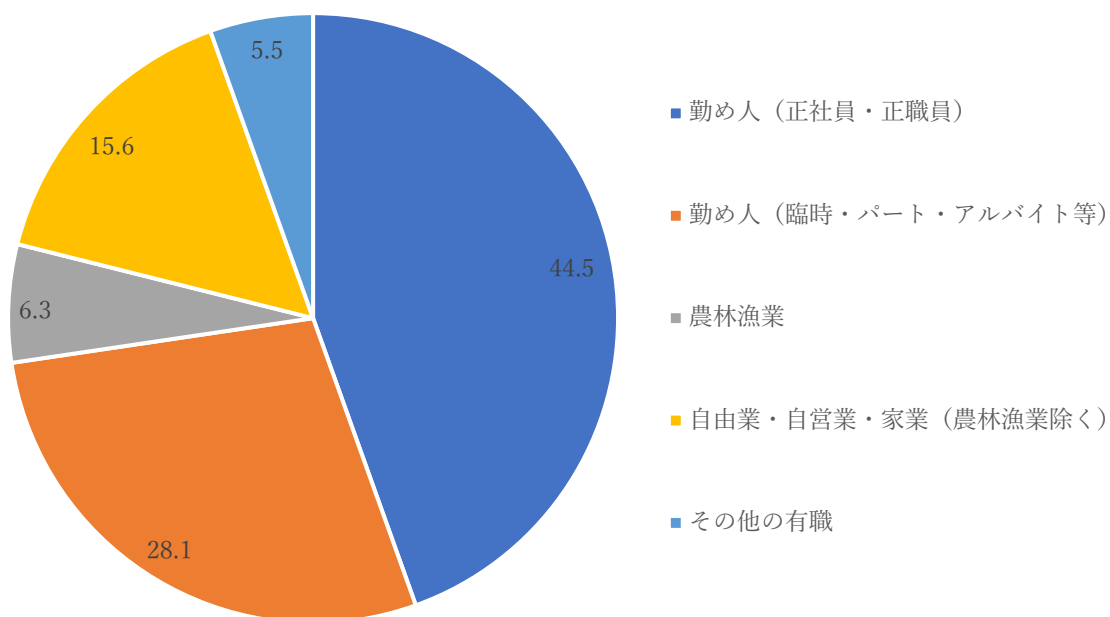


問 14 あなたは、今後仕事をしたいと思いますか。(○は1つ)



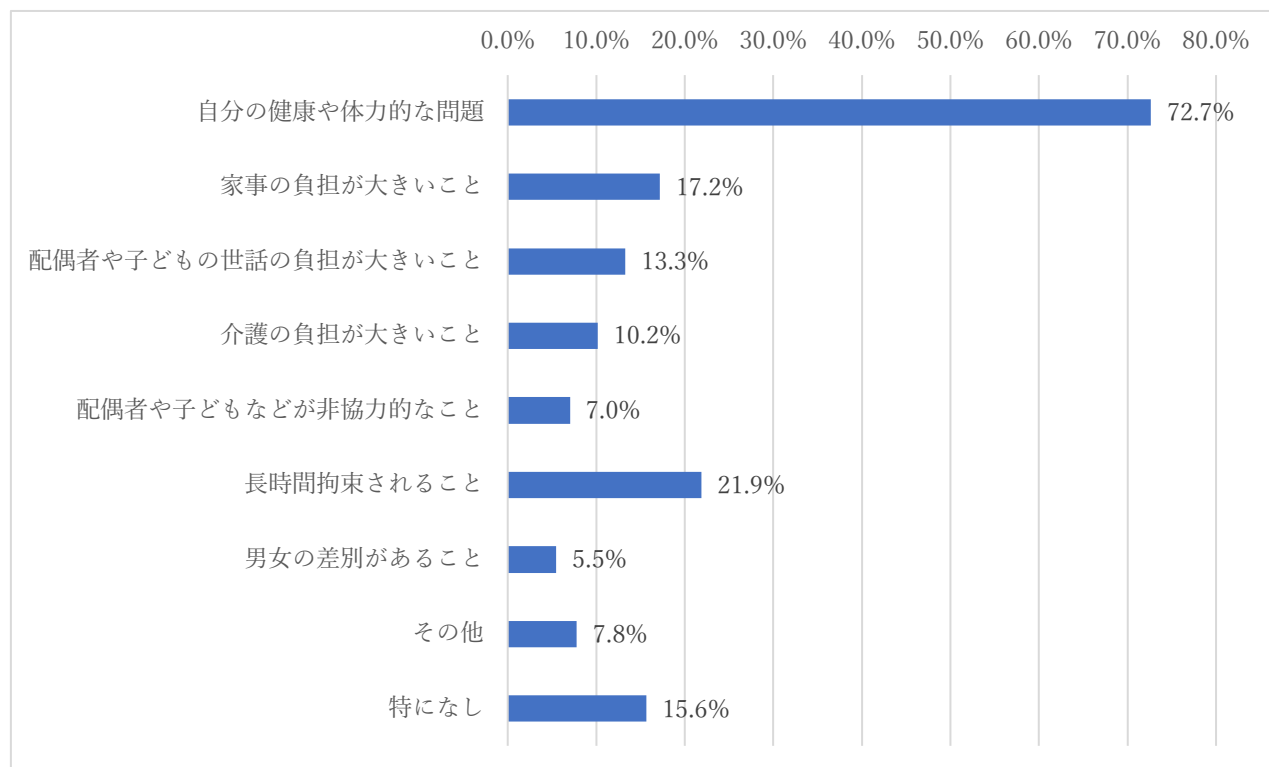
※ 問 15～17 は、問 12 で「1. 仕事をしている」とお答えの方にお聞きます。

問 15 あなたの仕事の形態は次のどれですか。(○は1つ)



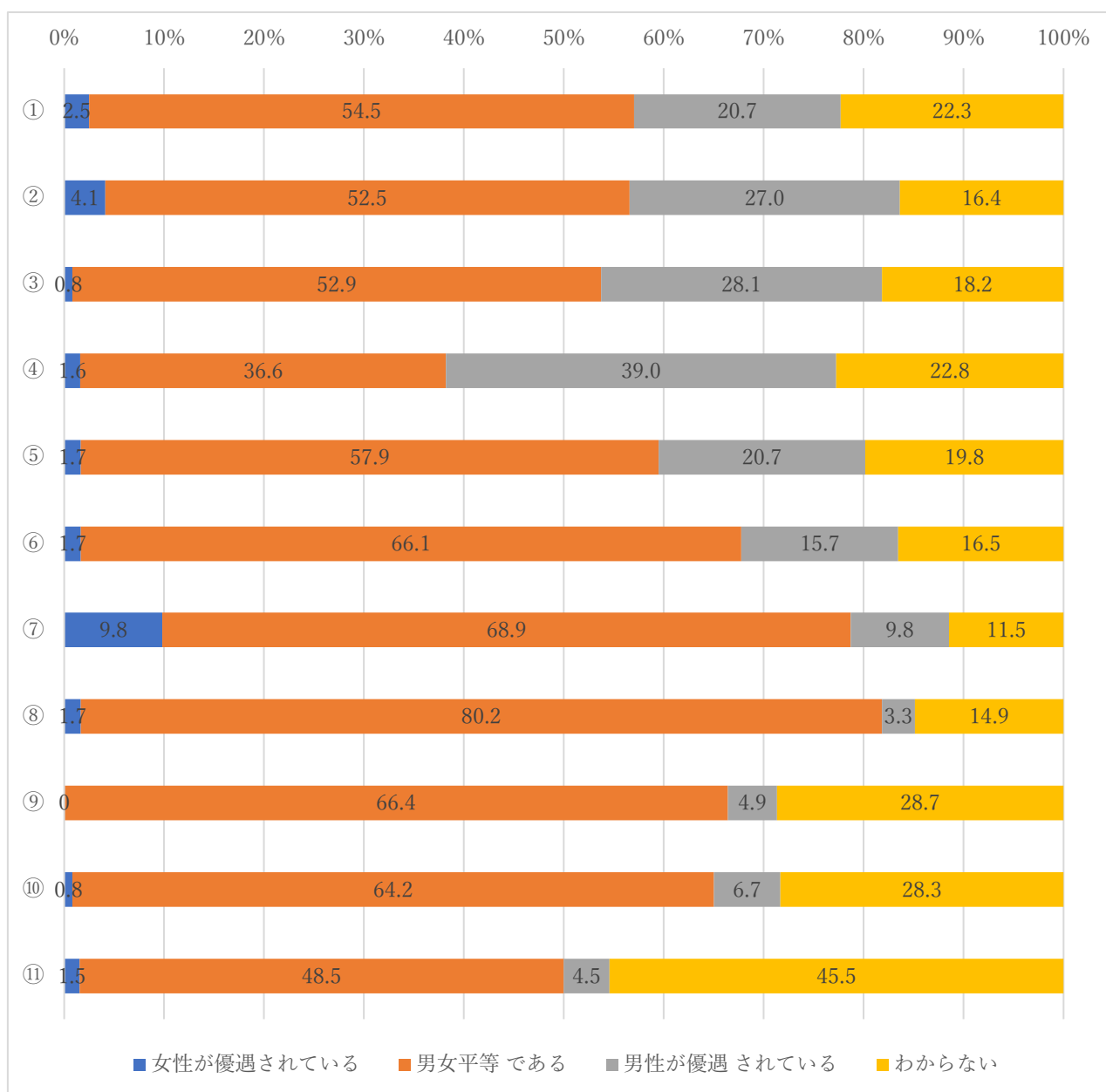
問 16 あなたが仕事を続けていく上で、問題と思われることは何ですか。(〇は3つまで)

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1. 自分の健康や体力的な問題 | 6. 長時間拘束されること |
| 2. 家事の負担が大きいこと | 7. 男女の差別があること |
| 3. 配偶者や子どもの世話の負担が大きいこと | 8. その他 () |
| 4. 介護の負担が大きいこと | 9. 特になし |
| 5. 配偶者や子どもなどが非協力的なこと | |



問 17 あなたの職場で男女の格差があると思うのは何ですか。(○はそれぞれに1つ)

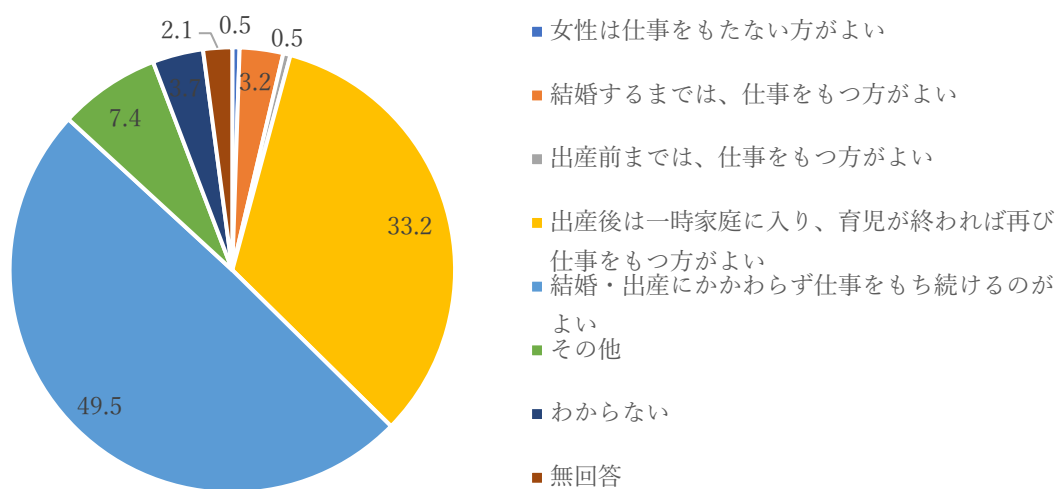
	女性が優遇 されている	男 女 平 等 で あ る	男性が優遇 されている	わからない
①採用・募集	1	2	3	4
②仕事内容	1	2	3	4
③給与・賃金	1	2	3	4
④人事における昇任	1	2	3	4
⑤能力・成果の評価	1	2	3	4
⑥研修・訓練の機会	1	2	3	4
⑦勤務時間	1	2	3	4
⑧福利厚生	1	2	3	4
⑨解雇	1	2	3	4
⑩再雇用	1	2	3	4
⑪その他 ()	1	2	3	4



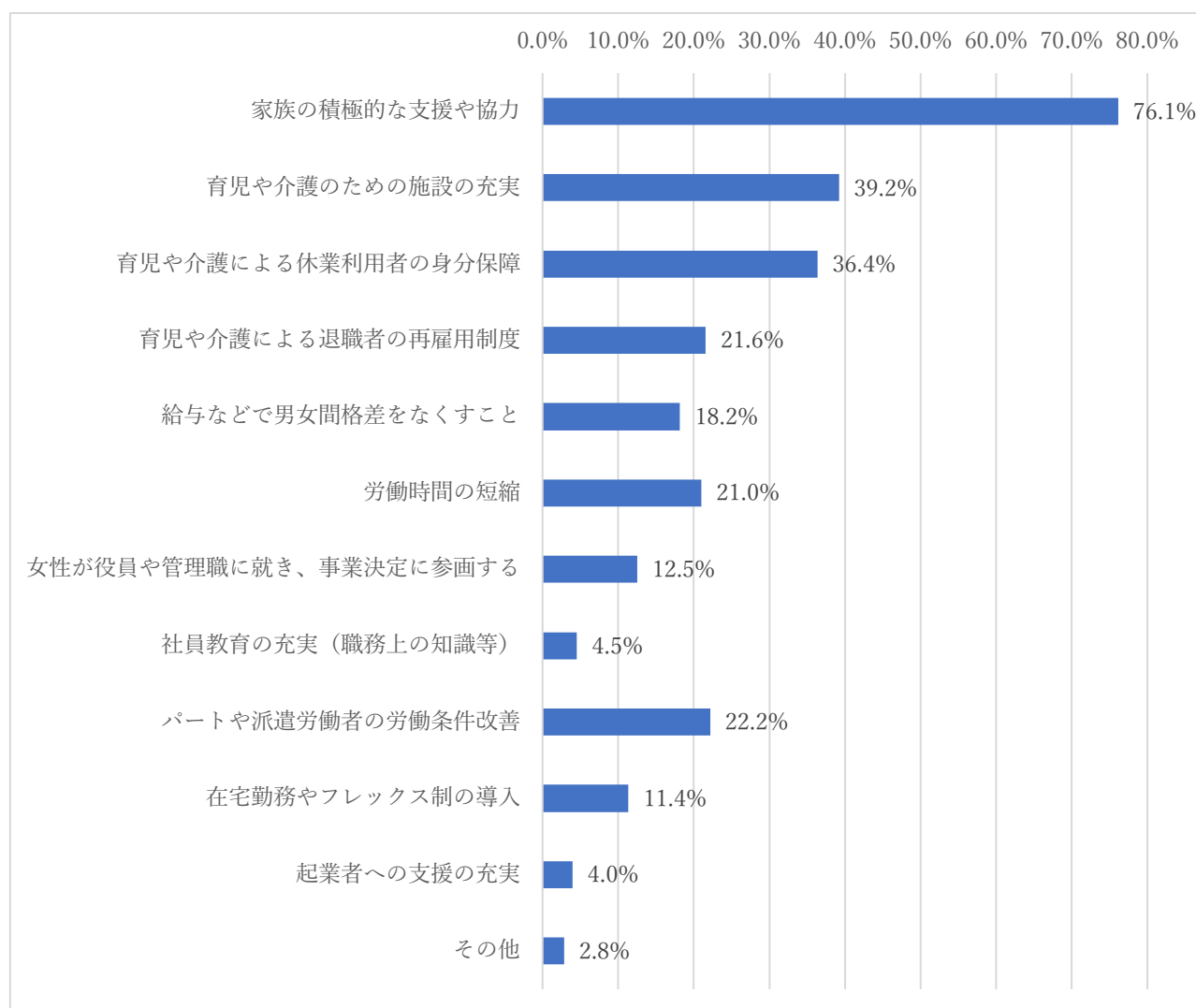
※ すべての方にお聞きします。

問 18 あなたは、女性が仕事をもつことについて、どのようにお考えですか。(○は1つ)

1. 女性は仕事をもたない方がよい
2. 結婚するまでは、仕事をもつ方がよい
3. 出産前までは、仕事をもつ方がよい
4. 出産後は一時家庭に入り、育児が終われば再び仕事をもつ方がよい
5. 結婚・出産にかかわらず仕事をもち続けるのがよい
6. その他 ()
7. わからない



問 19 あなたは、女性が仕事を続けていくためには、どのようなことが必要だとお考えですか。(○は3つまで)

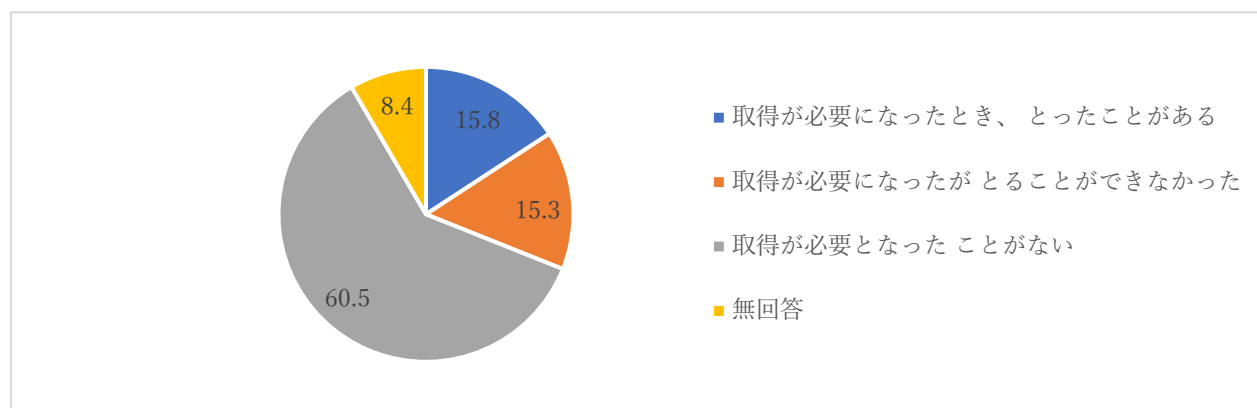


問 20 あなたは、育児や家族介護を行うために、育児休業、介護休業を取得したことがありますか。

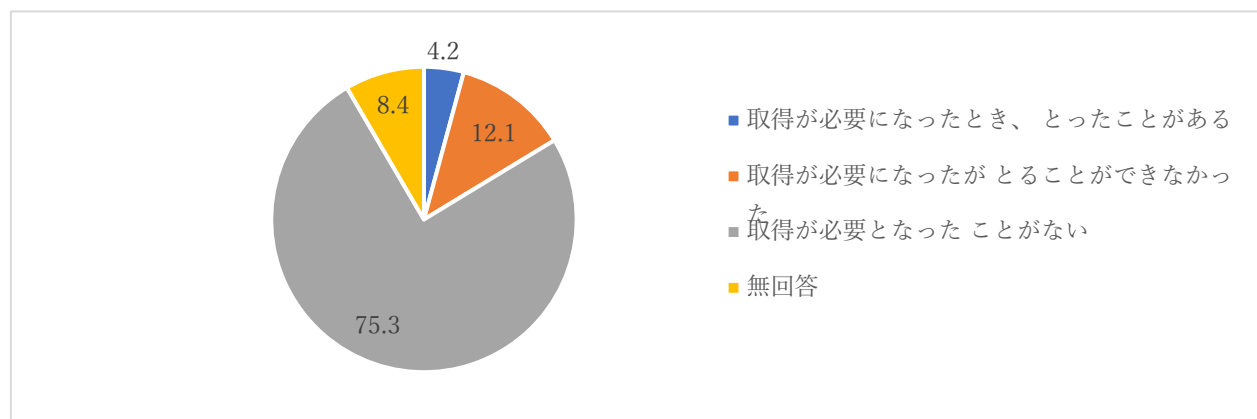
(○はそれぞれに1つ)

	取得が必要になったとき、 とったことがある	取得が必要になったが とることができなかった	取得が必要となった こ と が な い
①育児休業	1	2	3
②介護休業	1	2	3

①育児休業



②介護休業

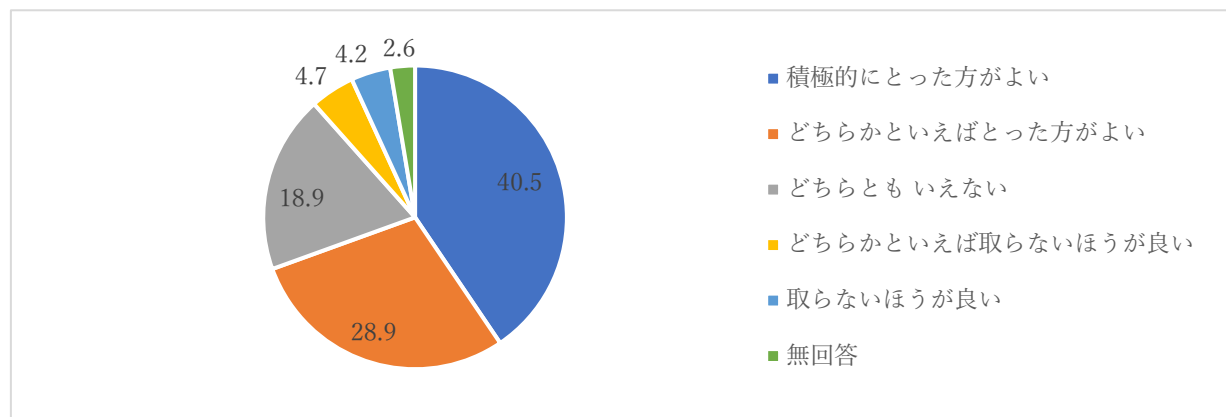


問21 あなたは、男性が育児休業や介護休業を取ることに、どう思いますか。

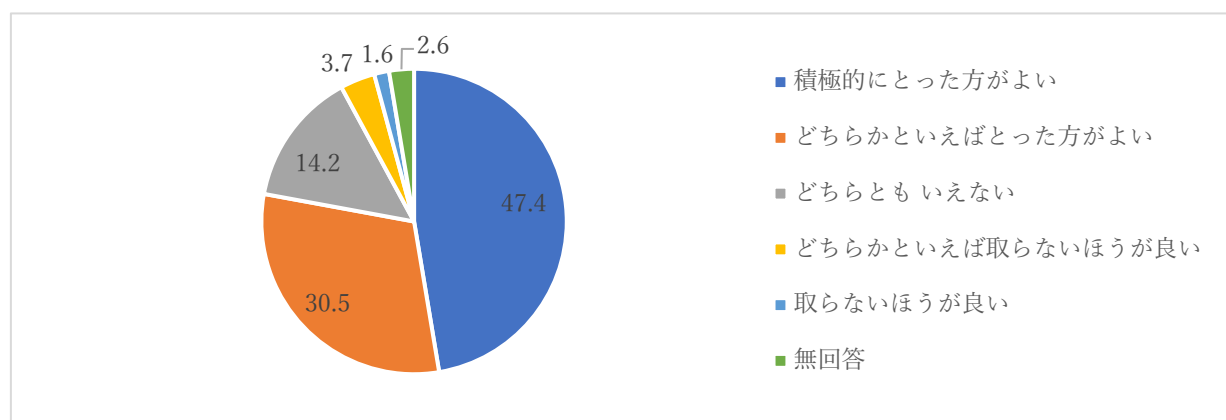
(○はそれぞれに1つ)

	積極的にとった方がよい	どちらかといえばとった方がよい	どちらとも いえない	どちらかといえ ば取らないほう が良い	取らないほう が良い
①育児休業	1	2	3	4	5
②介護休業	1	2	3	4	5

①育児休業



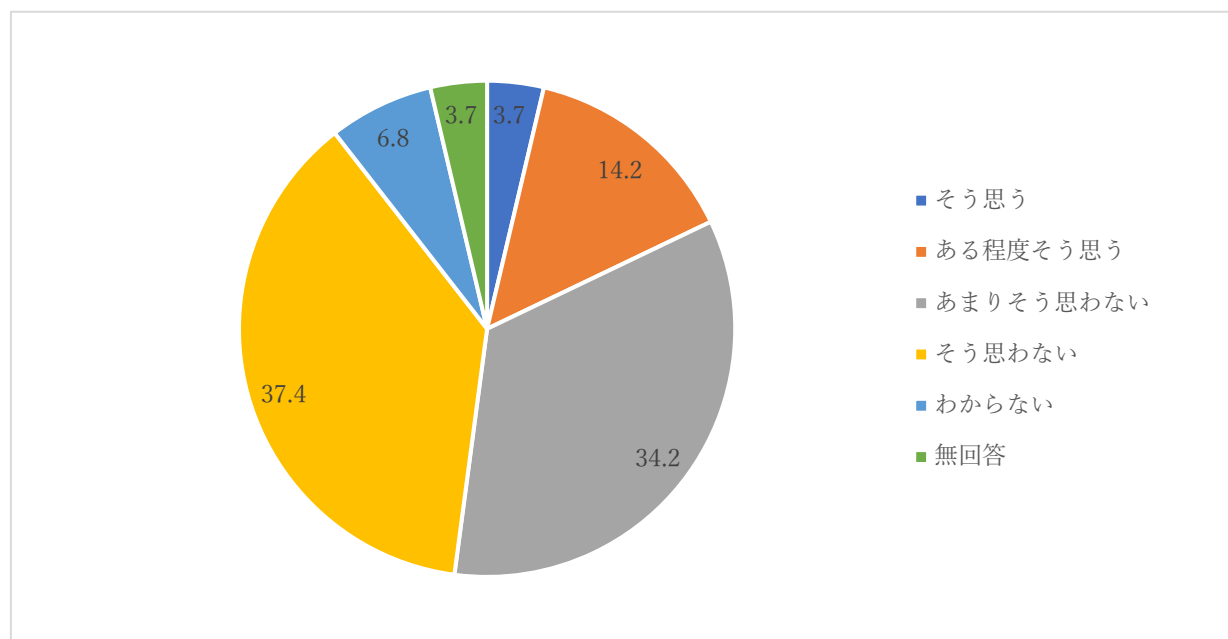
②介護休業



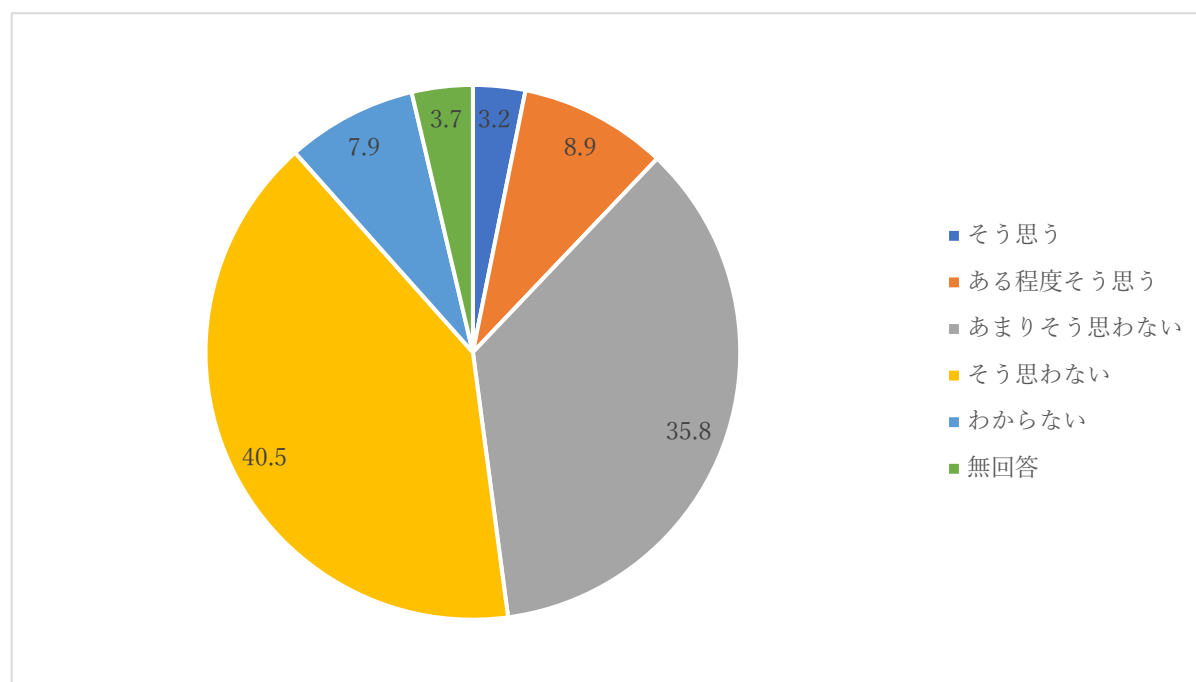
問 22 あなたは、男性が育児休業や介護休業を取ることにについて、現在、社会や企業の支援は十分だと思いますか。
(○はそれぞれに1つ)

	そう思う	ある程度 そう思う	あまり そう思わない	そうは 思わない	わからない
①育児休業	1	2	3	4	5
②介護休業	1	2	3	4	5

①育児休業

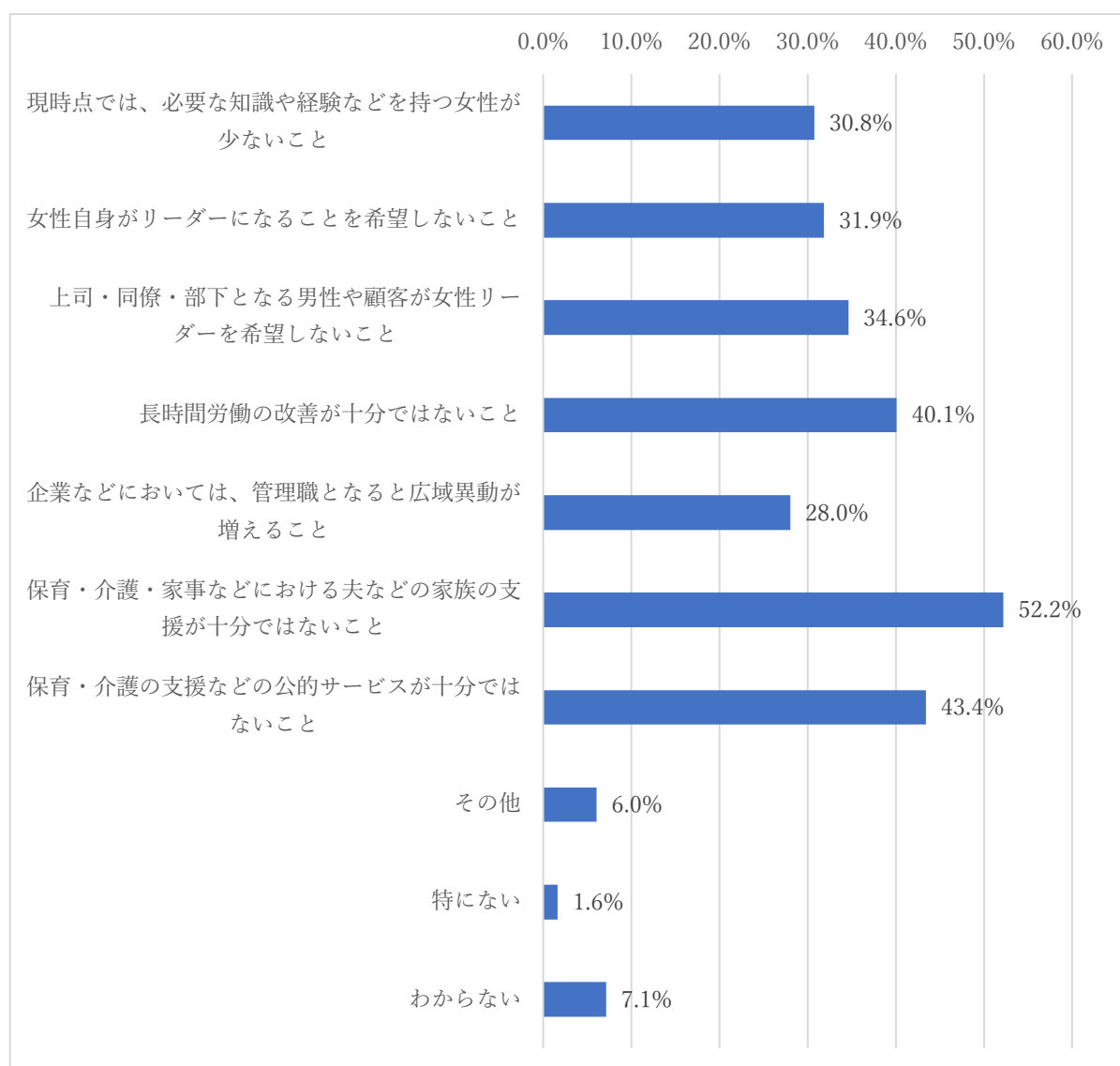


②介護休業



問 23 あなたは、経済・地域・政治などの各分野で、女性のリーダーを増やすときに障害となるものは何だと思いますか。（○はいくつでも）

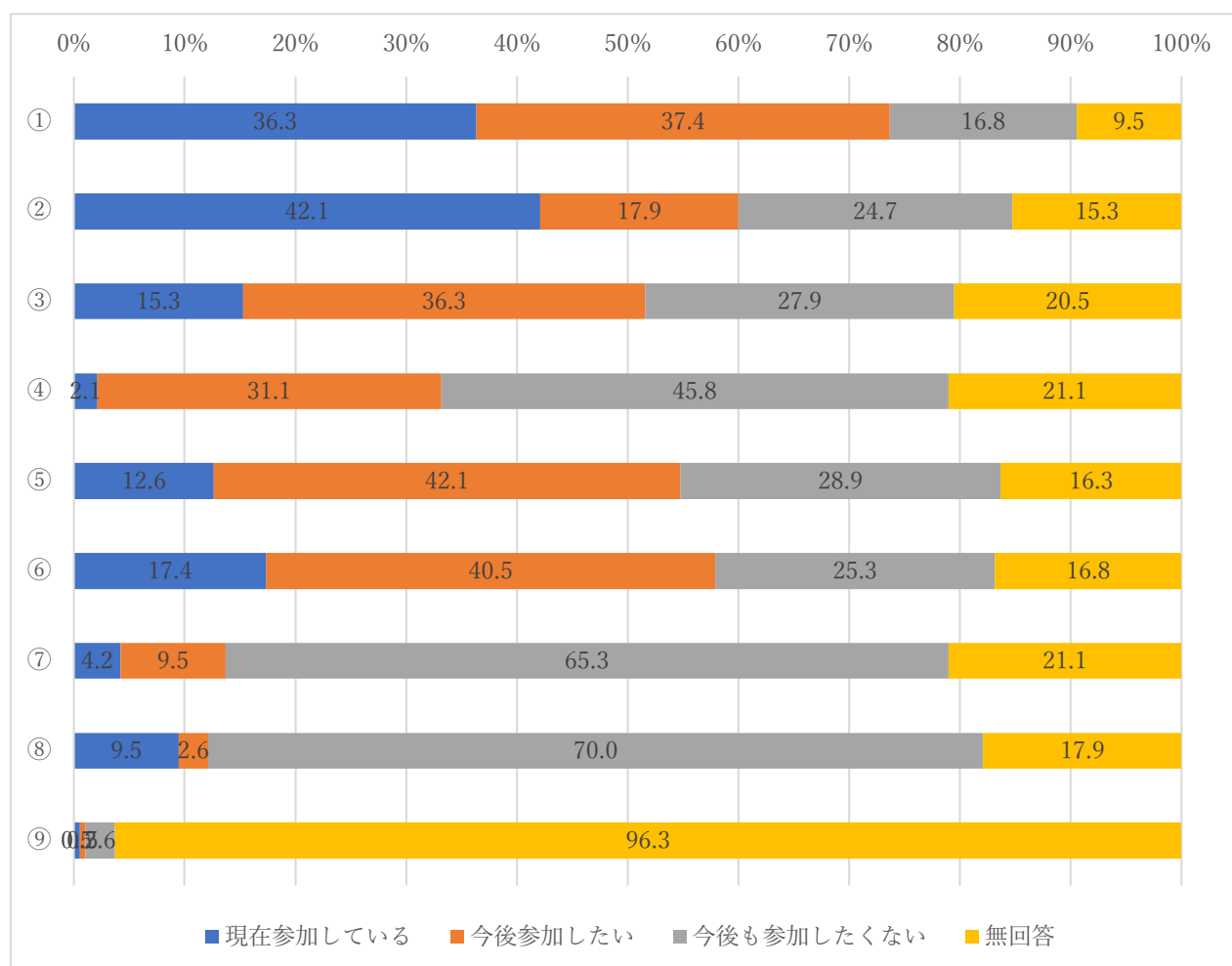
1. 現時点では、必要な知識や経験などを持つ女性が少ないこと
2. 女性自身がリーダーになることを希望しないこと
3. 上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと
4. 長時間労働の改善が十分ではないこと
5. 企業などにおいては、管理職となると広域異動が増えること
6. 保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと
7. 保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと
8. その他（ ）
9. 特にない
10. わからない



地域社会についてお聞きします

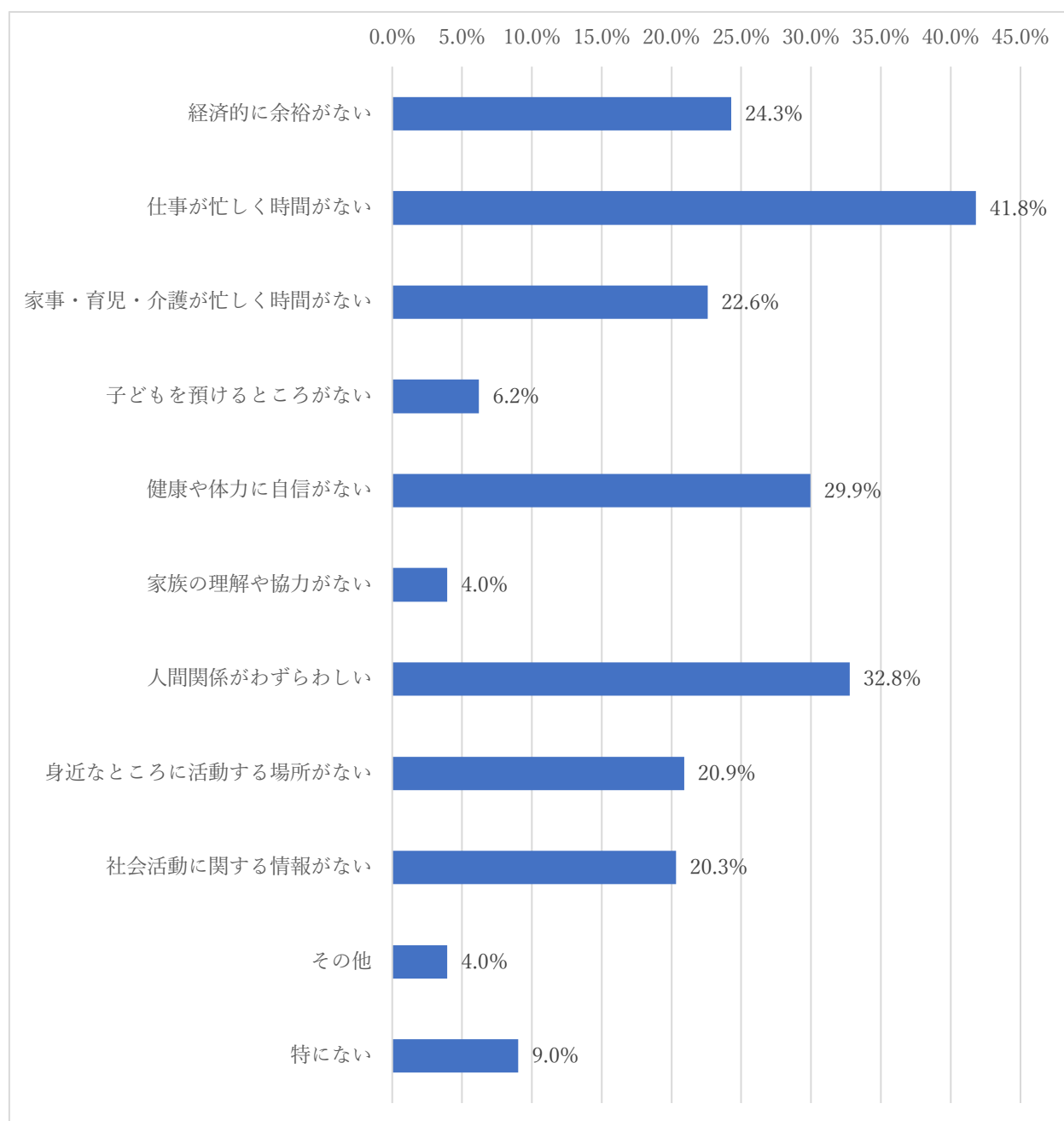
問24 あなたは次のような活動に参加していますか。また今後参加したい活動はありますか。
(〇はいくつでも)

	現在参加 している	今後参加 したい	今後も参加 したくない
①趣味・学習・スポーツ活動	1	1	1
②町内会・PTA・子ども会など地域活動	2	2	2
③リサイクル・消費生活活動	3	3	3
④国際交流活動	4	4	4
⑤福祉活動	5	5	5
⑥環境保護、まちづくりなどの社会活動	6	6	6
⑦政治活動	7	7	7
⑧宗教活動	8	8	8
⑨その他（ ）	9	9	9



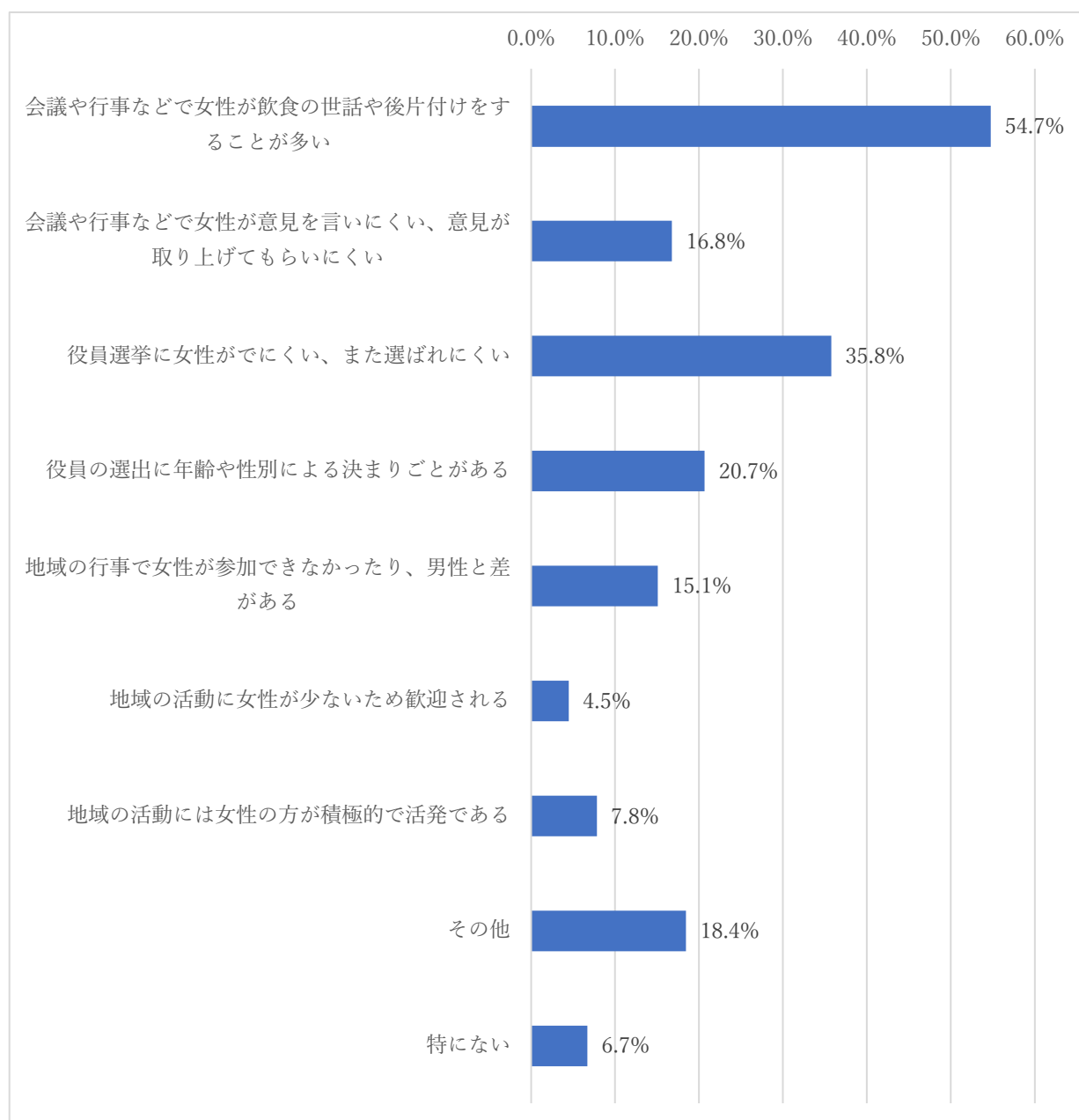
問 25 あなたが、社会活動に参加する際に、支障となることは何でしょうか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 経済的に余裕がない | 7. 人間関係がわずらわしい |
| 2. 仕事が忙しく時間がない | 8. 身近なところに活動する場所がない |
| 3. 家事・育児・介護が忙しく時間がない | 9. 社会活動に関する情報がない |
| 4. 子どもを預けるところがない | 10. その他 () |
| 5. 健康や体力に自信がない | 11. 特にない |
| 6. 家族の理解や協力がない | |



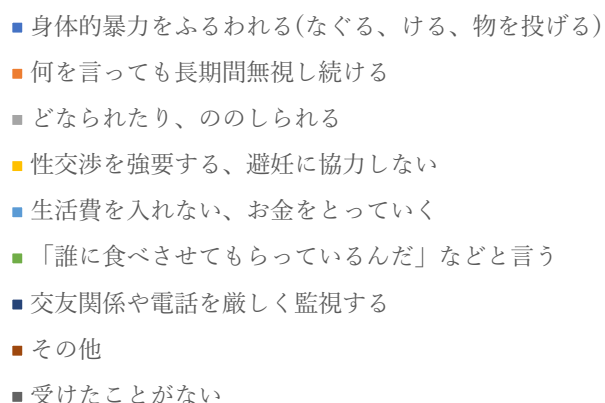
問 26 あなたの住んでいる地域（自治会など）で次のような男女の格差はありますか。
（○はいいくつでも）

1. 会議や行事などで女性が飲食の世話や後片付けをすることが多い
2. 会議や行事などで女性が意見を言いにくい、意見が取り上げてもらいにくい
3. 役員選挙に女性がでにくい、また選ばれにくい
4. 役員の選出に年齢や性別による決まりごとがある（例；PTA 会長は男性、副会長は女性）
5. 地域の行事で女性が参加できなかったり、男性と差がある
6. 地域の活動に女性が少ないため歓迎される
7. 地域の活動には女性の方が積極的に活発である
8. その他（ ）
9. 特にない



暴力等についてお聞きます

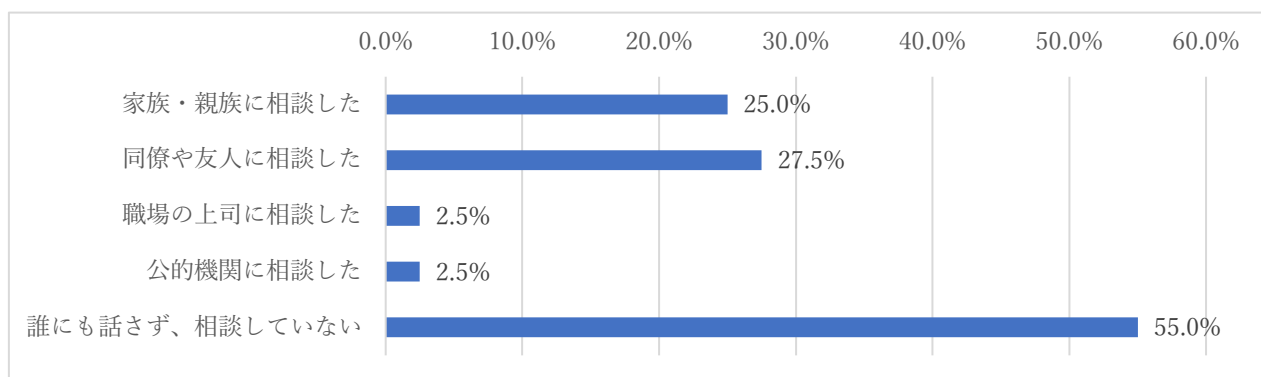
1. 身体的暴力をふるわれる(なぐる、ける、物を投げる)
2. 何を言っても長期間無視し続ける
3. どなられたり、ののしられる
4. 性交渉を強要する、避妊に協力しない
5. 生活費を入れない、お金をとっていく
6. 「誰に食べさせてもらっているんだ」などと言う
7. 交友関係や電話を厳しく監視する
8. その他 ()
9. 受けたことがない



問 28 問 27 で、何らかの行為を受けた経験がある方にお聞きします。

何らかの行為を受けたことについて、誰かに話したり、相談しましたか。(〇はいくつでも)

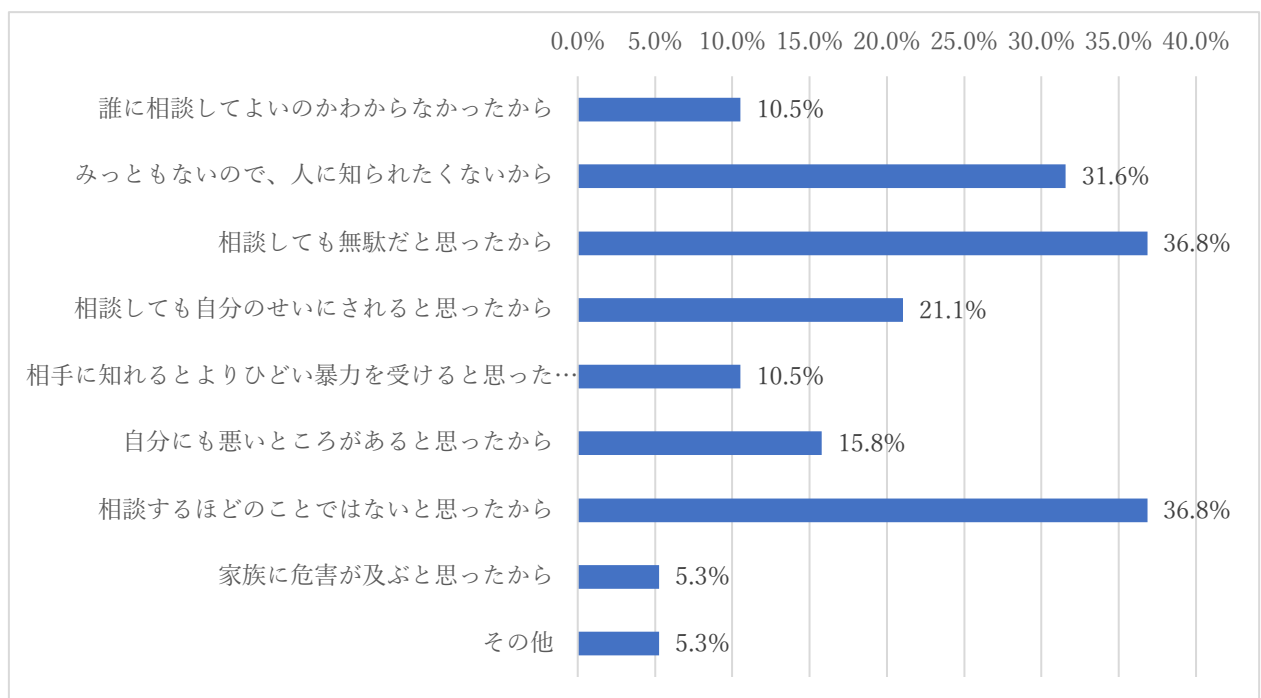
- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 家族・親族に相談した | 5. 公的機関に相談した |
| 2. 同僚や友人に相談した | 6. その他 () |
| 3. 職場の上司に相談した | 7. 誰にも話さず、相談していない |
| 4. 学校・職場の相談窓口相談した | |



問 29 問 28 で、「7. 誰にも話さず、相談していない」とお答えの方にお聞きします。

相談しなかったのは、なぜですか。(〇はいくつでも)

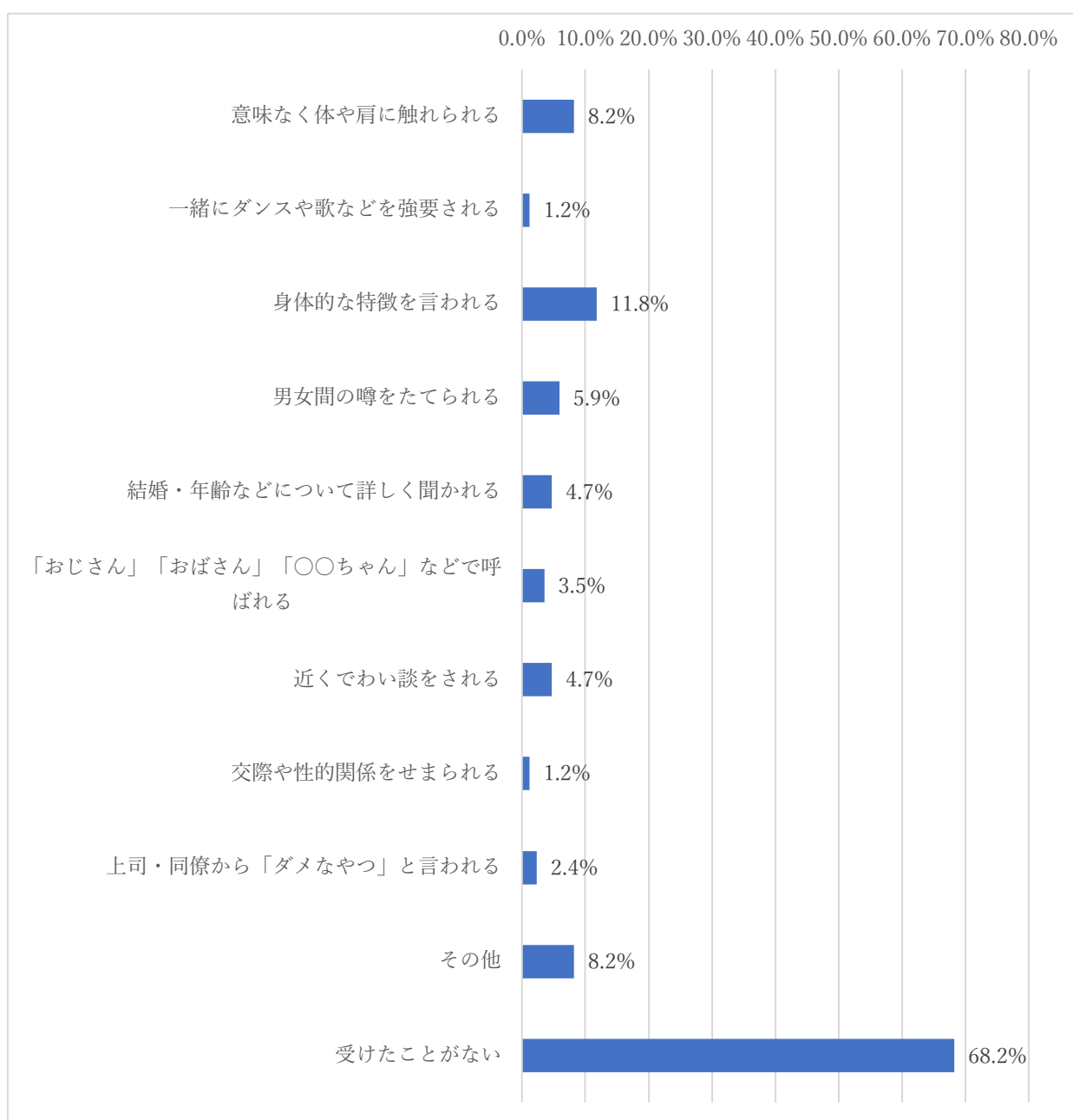
- | | |
|----------------------------|--|
| 1. 誰に相談してよいのかわからなかったから | |
| 2. みっともないので、人に知られたくないから | |
| 3. 相談しても無駄だと思ったから | |
| 4. 相談しても自分のせいにされと思ったから | |
| 5. 相手に知れるとよりひどい暴力を受けと思ったから | |
| 6. 自分にも悪いところがあると思ったから | |
| 7. 相談するほどのことではないと思ったから | |
| 8. 家族に危害が及ぶと思ったから | |
| 9. その他 () | |



問 30 職場や学校、様々な活動の場で次のような不快な行為を受けたことがありますか。

(○はいくつでも)

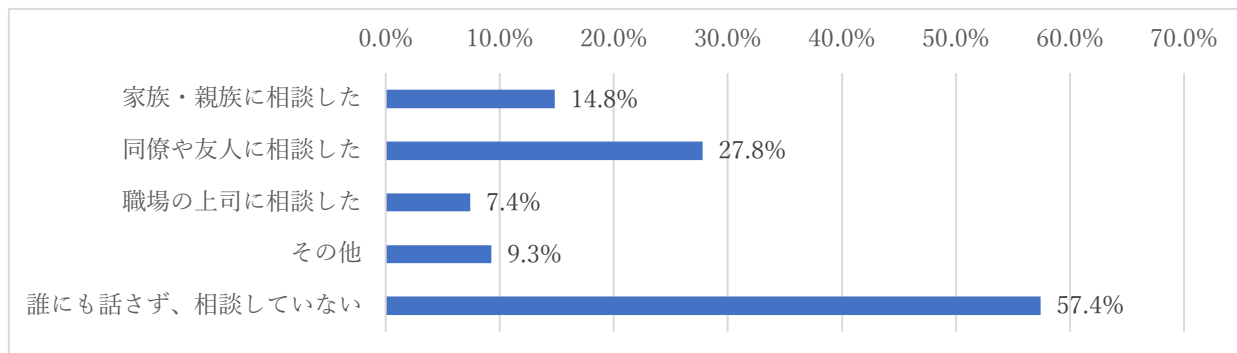
- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| 1. 意味なく体や肩に触れられる | 8. 近くでわい談をされる |
| 2. 一緒にダンスや歌などを強要される | 9. わいせつな雑誌・写真・ポスターなどが回りに置いてある |
| 3. 身体的な特徴を言われる | 10. 交際や性的関係をせまられる |
| 4. 男女間の噂をたてられる | 11. 上司・同僚から「ダメなやつ」と言われる |
| 5. 結婚・年齢などについて詳しく聞かれる | 12. その他（ ） |
| 6. 「おじさん」「おばさん」「〇〇ちゃん」などと呼ばれる | 13. 受けたことがない |
| 7. 体をじろじろ見られる | |



問 31 問 30 で、何らかの行為を受けた経験がある方にお聞きします。

何らかの行為を受けたことについて、誰かに話したり、相談しましたか。(〇はいくつでも)

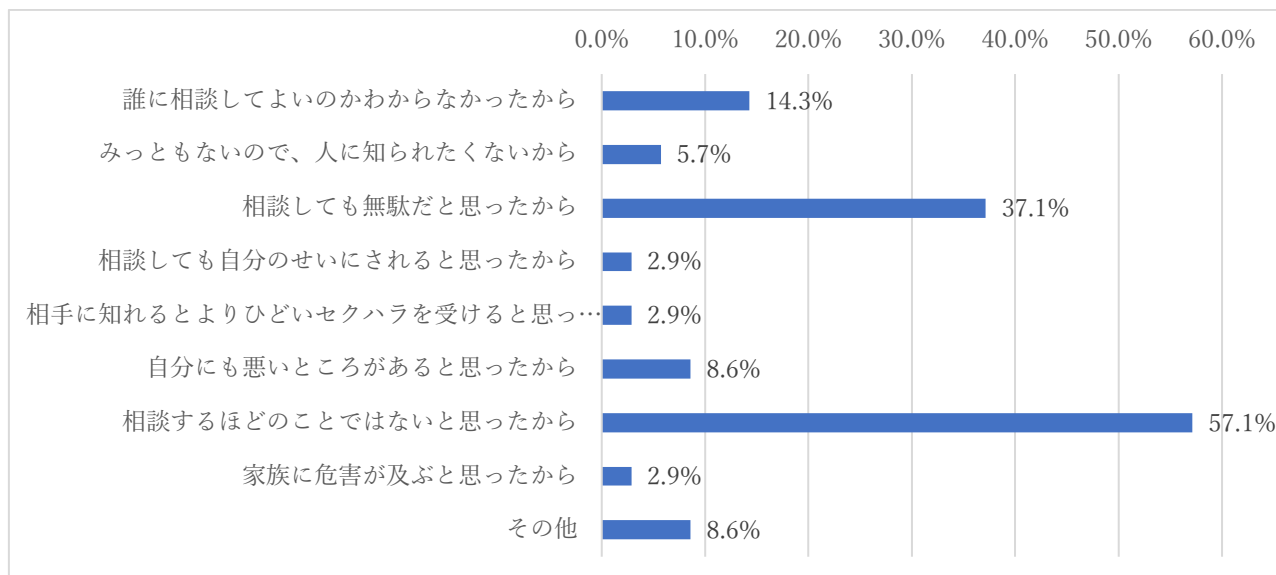
- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 家族・親族に相談した | 5. 公的機関に相談した |
| 2. 同僚や友人に相談した | 6. その他 () |
| 3. 職場の上司に相談した | 7. 誰にも話さず、相談していない |
| 4. 学校・職場の相談窓口相談した | |



問 32 問 31 で、「7. 誰にも話さず、相談していない」とお答えの方にお聞きします。

相談しなかったのは、なぜですか。(〇はいくつでも)

1. 誰に相談してよいのかわからなかったから
2. みっともないので、人に知られたくないから
3. 相談しても無駄だと思ったから
4. 相談しても自分のせいにされと思ったから
5. 相手に知れるとよりひどいセクハラを受けると思ったから
6. 自分にも悪いところがあると思ったから
7. 相談するほどのことではないと思ったから
8. 家族に危害が及ぶと思ったから
9. その他 ()

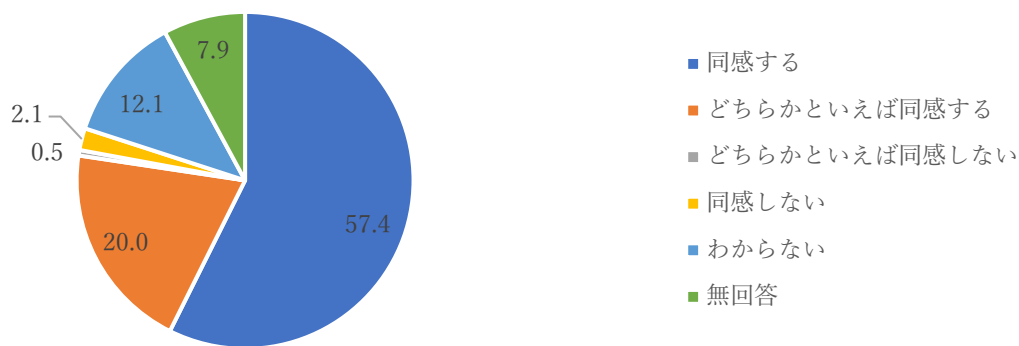


仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてお聞きします

問33 多様な働き方が選択でき、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス※）がとれるという考え方をあなたはどのように思いますか。（○は1つ）

- | | |
|------------------|----------|
| 1. 同感する | 4. 同感しない |
| 2. どちらかといえば同感する | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば同感しない | |

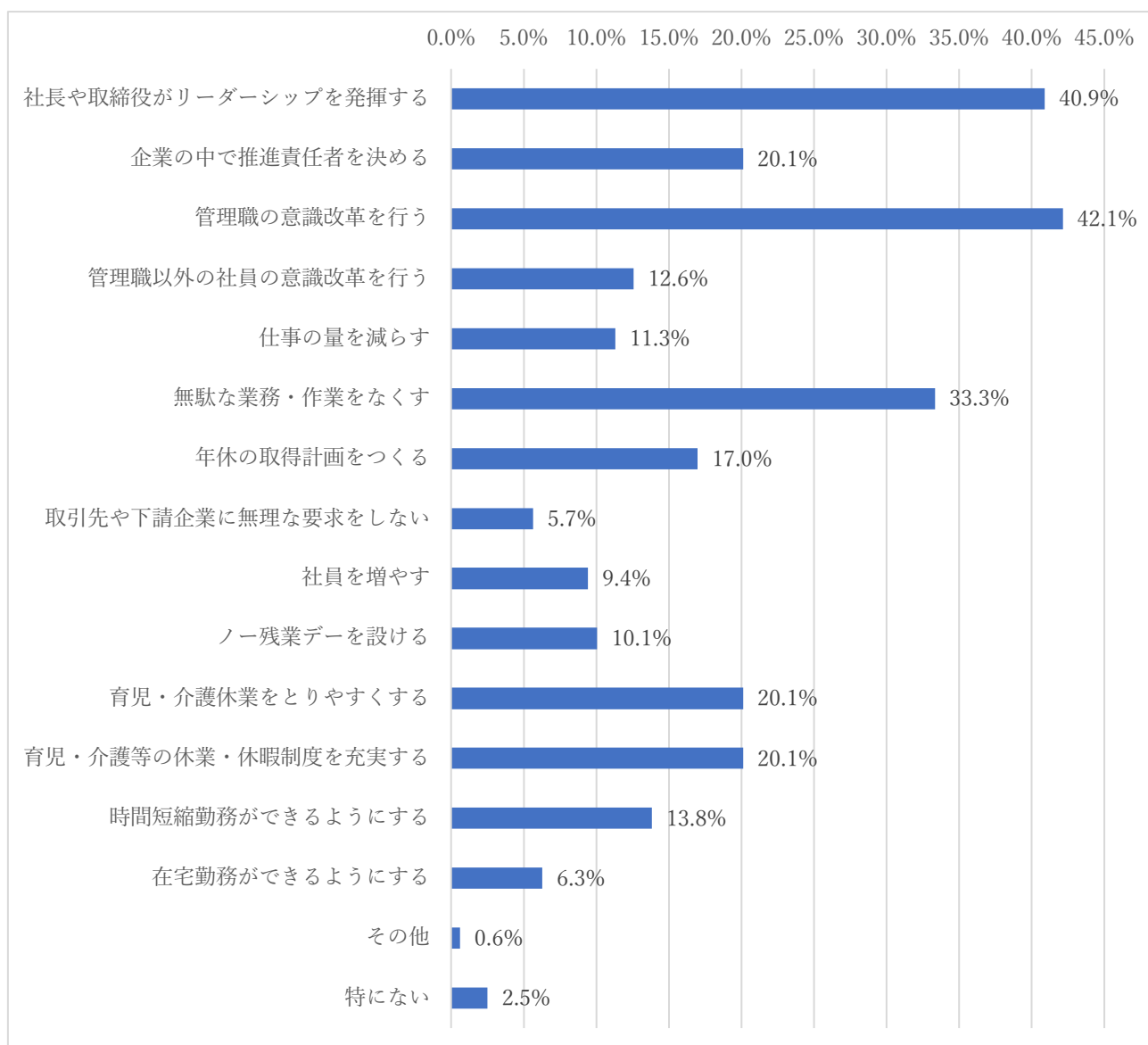
※ワーク・ライフ・バランス：老若男女誰もが、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、様々な活動について、自ら希望するバランスで展開できる状態のこと。



問34 「仕事と生活の調和がとれる生活（ワーク・ライフ・バランス）が実現された社会」に近づくために、①企業による取組と②行政による取組が考えられますが、あなたはそれぞれどのような取組が必要だと思われますか。

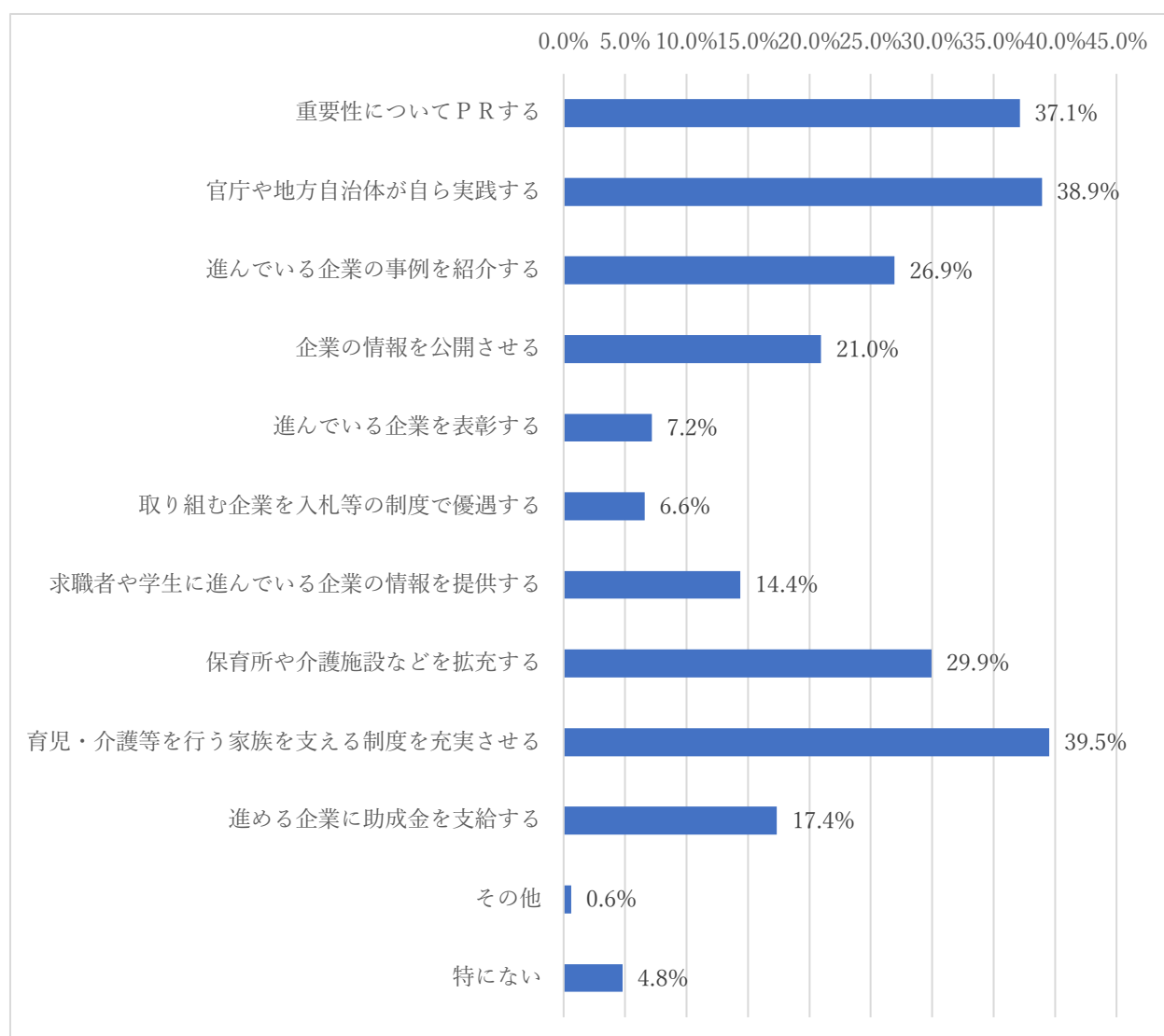
①企業による取組（〇は3つまで）

- | | |
|---|-------------------------|
| 1. 社長や取締役がリーダーシップを発揮してワーク・ライフ・バランスに取り組む | |
| 2. 企業の中で、ワーク・ライフ・バランスを推進する責任者を決める | |
| 3. 管理職の意識改革を行う | 10. ノー残業デーを設ける |
| 4. 管理職以外の社員の意識改革を行う | 11. 育児・介護休業をとりやすくする |
| 5. 仕事の量を減らす | 12. 育児・介護等の休業・休暇制度を充実する |
| 6. 無駄な業務・作業をなくす | 13. 時間短縮勤務ができるようにする |
| 7. 年休の取得計画をつくる | 14. 在宅勤務ができるようにする |
| 8. 取引先や下請企業に無理な要求をしない | 15. その他（ |
| 9. 社員を増やす | 16. 特にない |



②行政による取組（○は3つまで）

1. ワーク・ライフ・バランスの重要性についてPRする
2. 官庁や地方自治体がワーク・ライフ・バランスを自ら実践する
3. ワーク・ライフ・バランスが進んでいる企業の事例を紹介する
4. ワーク・ライフ・バランスについての企業の情報を公開させる
5. ワーク・ライフ・バランスが進んでいる企業を表彰する
6. ワーク・ライフ・バランスに取り組む企業を入札等の制度で優遇する
7. 求職者や学生にワーク・ライフ・バランスが進んでいる企業の情報を提供する
8. 保育所や介護施設などを拡充する
9. 育児・介護等を行う家族を支える制度を充実させる
10. ワーク・ライフ・バランスを進める企業に助成金を支給する
11. その他（ ）
12. 特になし



政策・方針決定の場への参画についてお聞きます

問 35 政策などの立案や方針決定において女性の意見が反映されていると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|------------|--------------|
| 1. そう思う | 3. どちらともいえない |
| 2. そうは思わない | 4. わからない |

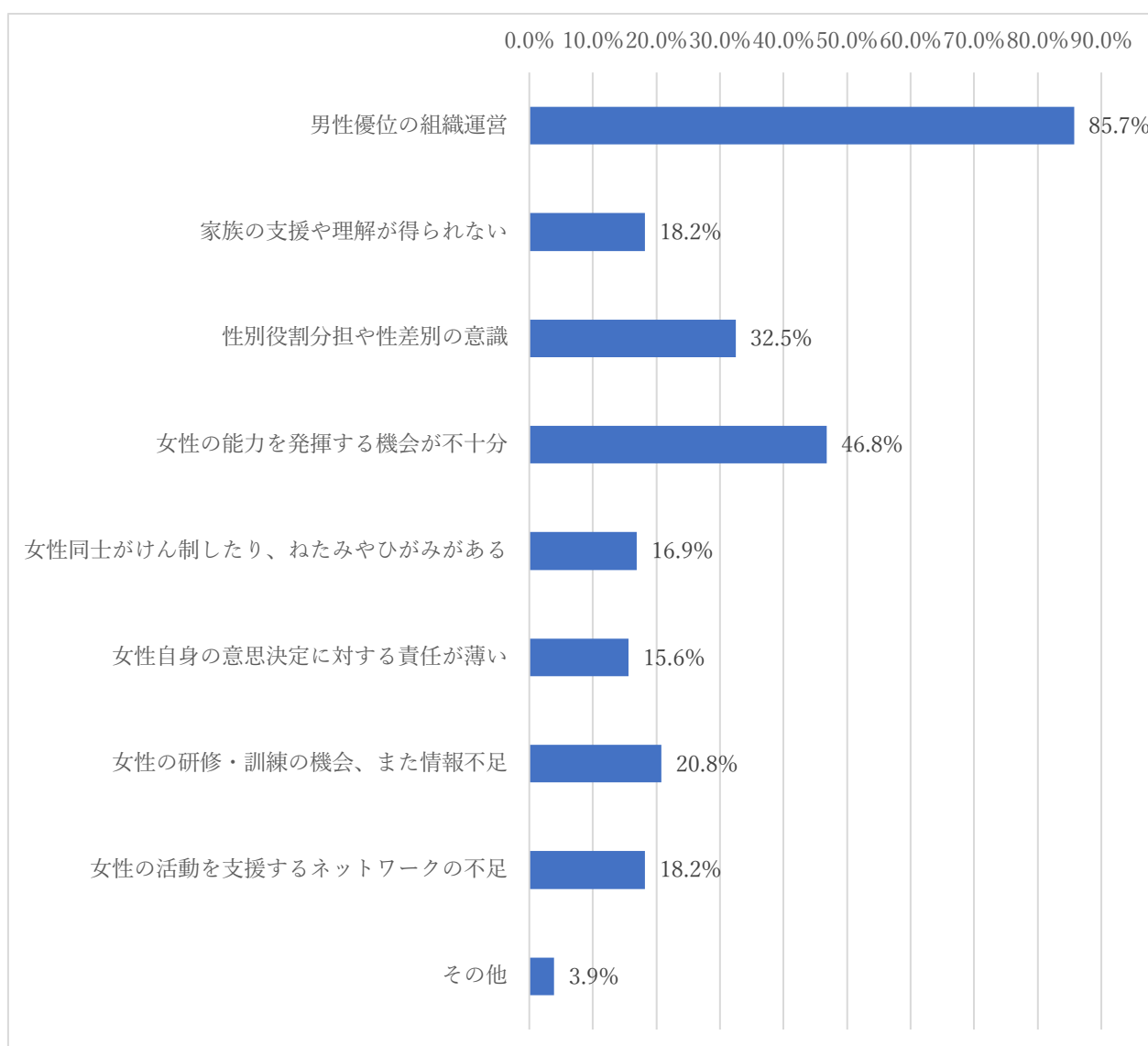


問 36 問 35 で「2. そうは思わない」とお答えの方にお聞きします。

政策や方針決定の過程において、女性の意見が反映されない理由は何故だと思いますか。

(○はいくつでも)

1. 男性優位の組織運営
2. 家族の支援や理解が得られない（しがらみや世間体のため、重要な役職に就くのを反対される）
3. 性別役割分担や性差別の意識
4. 女性の能力を発揮する機会が不十分
5. 女性同士がけん制したり、ねたみやひがみがある
6. 女性自身の意思決定に対する責任が薄い
7. 女性の研修・訓練の機会、また情報不足
8. 女性の活動を支援するネットワークの不足
9. その他（ ）



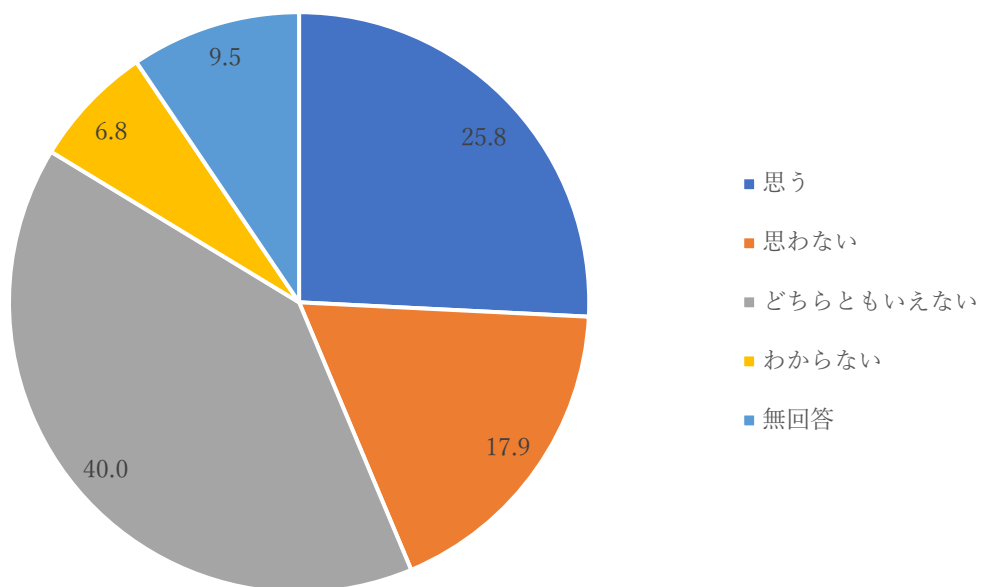
問 37 あなたは、地域・職場などにおいて方針決定の場へ参画したいと思いますか。(○は1つ)

1. 思う

3. どちらともいえない

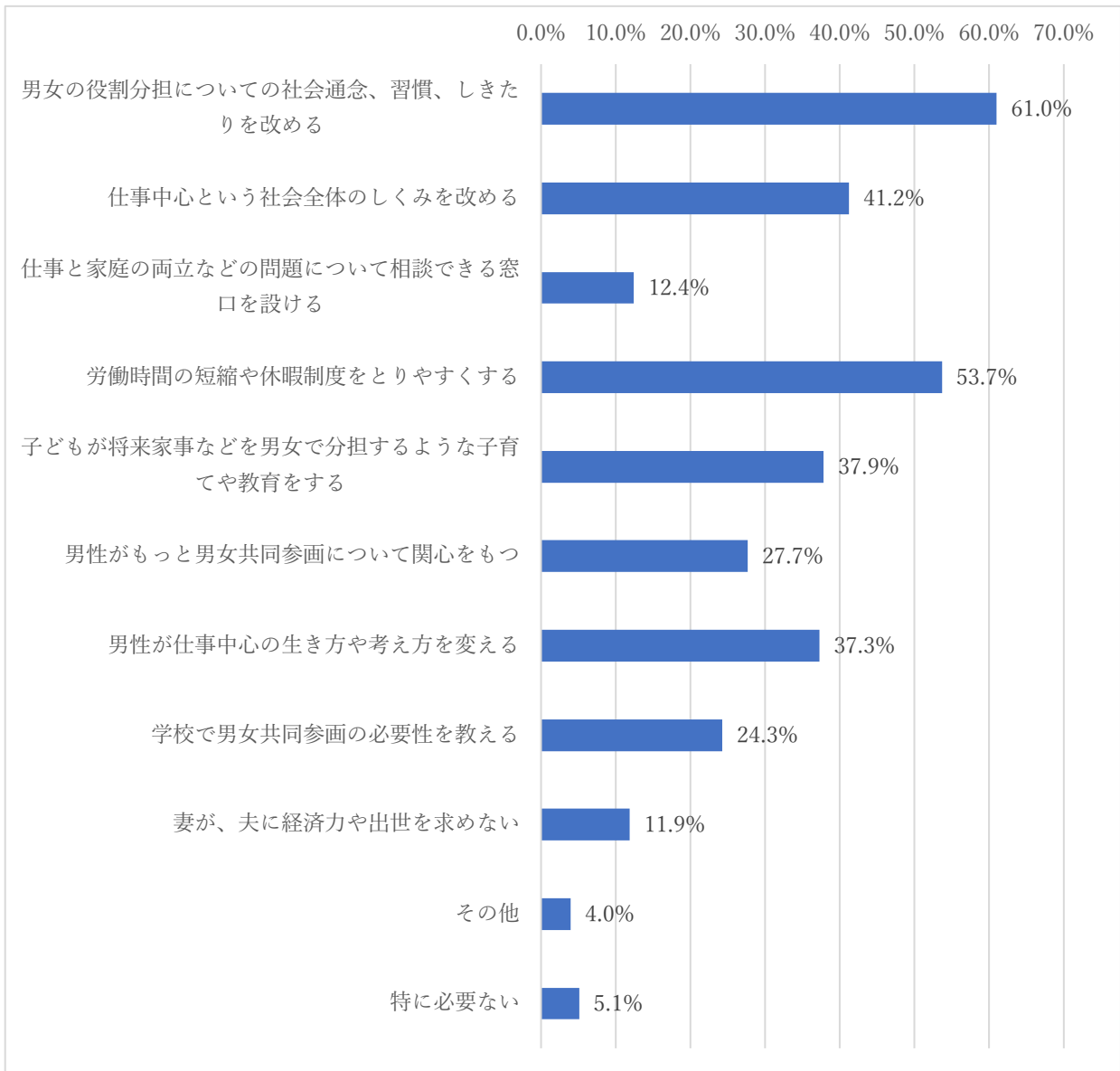
2. 思わない

4. わからない



問 38 あなたは、今後男性が家事、育児、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 男女の役割分担についての社会通念、習慣、しきたりを改める
2. 仕事中心という社会全体のしくみを改める
3. 仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設ける
4. 労働時間の短縮や休暇制度をとりやすくする
5. 子どもが将来家事などを男女で分担するような子育てや教育をする
6. 男性がもっと男女共同参画について関心をもつ
7. 男性が仕事中心の生き方や考え方を変える
8. 学校で男女共同参画の必要性を教える
9. 妻が、夫に経済力や出世を求めない
10. その他（
11. 特に必要ない

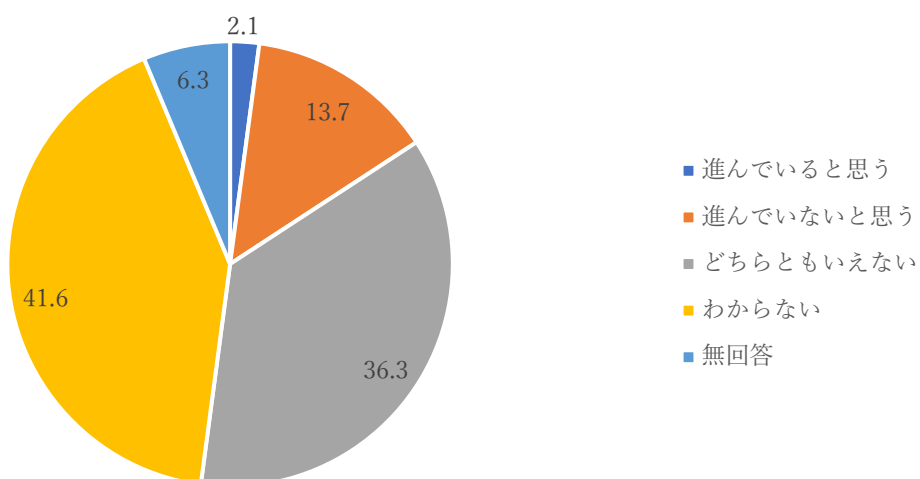


高島市の取り組み等についてお聞きします

問 39 高島市の男女共同参画に関する取り組みについてどう思いますか。(○は1つ)

1. 進んでいると思う
2. 進んでいないと思う

3. どちらともいえない
4. わからない



問 40 問 39 で「1. 進んでいると思う」「2. 進んでいないと思う」とお答えの方にお聞きします。
具体的な理由を挙げてください。

1. 進んでいると思う点 _____

2. 進んでいないと思う点 _____

1. 進んでいると思う点

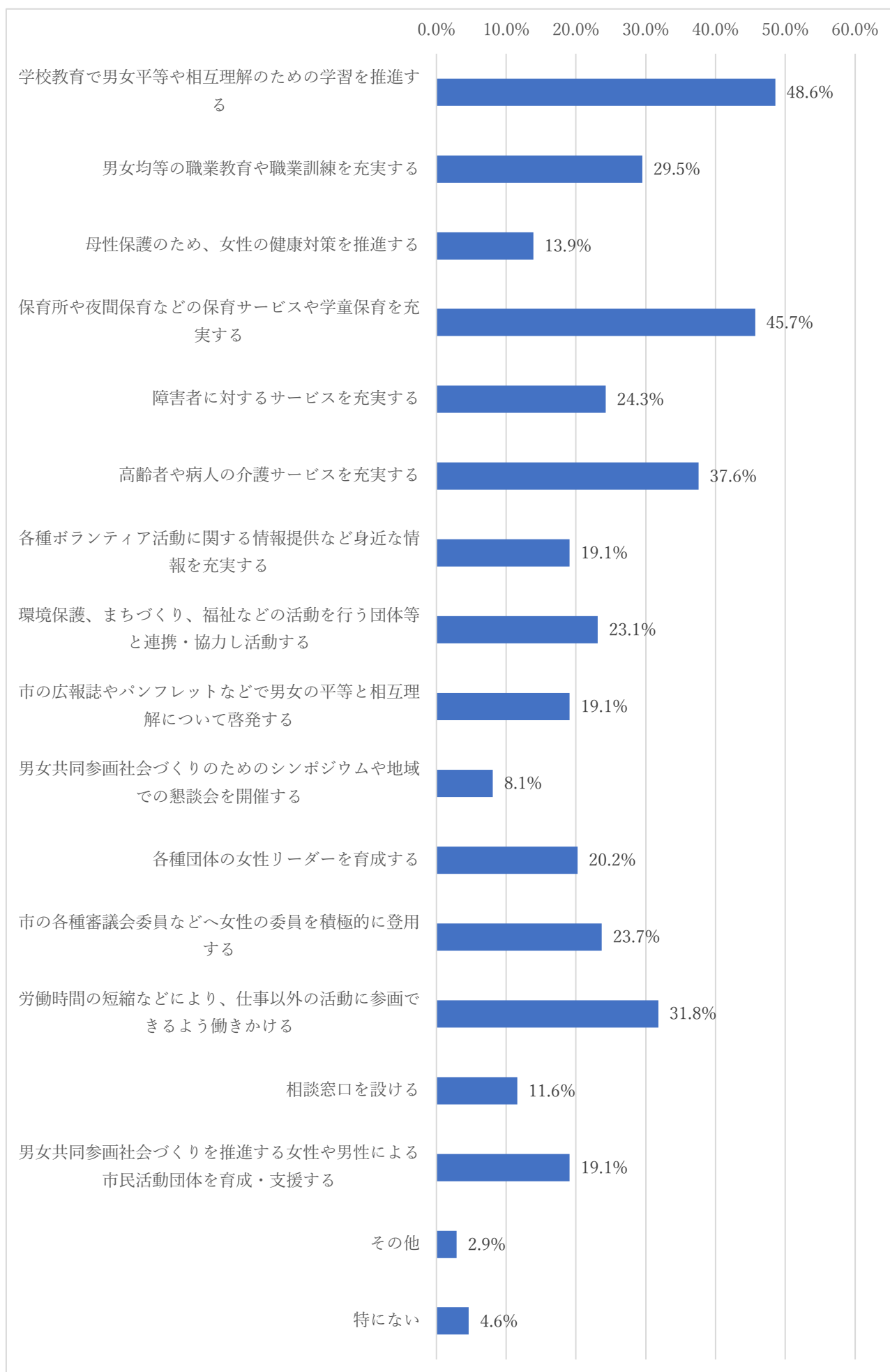
- ・はっきりわからない
- ・市政の中でいろいろ発信している
- ・私が働いていた職場は進んでいたし、それぞれの立場として頑張れた
- ・女性が活躍する場、SNS でみてもコツコツ広まってるかな？刺激になってるかな（^ v ^）
- ・詳しく分からない
- ・男性の育休が、増えてきた

2. 進んでいないと思う点

- ・まだまだ、女性の管理職がすくないとおもいますが
- ・あまり議論が進んでいないと思う
- ・このアンケート自体ヘンじゃないでしょうか
- ・みなさん知らないと思います
- ・やっぱり田舎の風習みたいなものもあるし、人生の先輩の方の考え方が堅い人もおられるので。
- ・家事育児は女性で、お仕事は男性という考え方。それに女性はお仕事もして家事育児も。大変。
- ・高齢者が多い地域では男女共同参画についての理解が浸透していない。
- ・市として何かやっておられるのでしょうか？。何も私は知りませんが。
- ・市民1人ひとりの認識が少ないと思う
- ・市役所自体がやる気がない。
- ・自治会・各種団体運営への条件付け（役員が両方いることなど補助に対して条件をつける）
- ・自治会等の役割
- ・自治区の場合は全然進んでいない。何十年も前のままでなかなか新しいことが取り入れられない。女性の声を聞いてもらえる場所がすくない。
- ・実際に変わっている実感がない
- ・実際の両親の職場を見て
- ・首長、議員の女性の進出が少ない。
- ・詳しく分からない
- ・進んでいるという事例が思い浮かばないから。
- ・昔ながらの慣習が残っている
- ・男性が変なプライド高すぎる。見ててあほらしくなる。自分の保身より、周りを労りましょうか？
- ・男尊女卑的な考え方やそういう思いの強い地域がまだあると思う。
- ・地域活動は男性中心
- ・地域自治会、PTA など男性が中心である。
- ・地域性が男尊女卑だから
- ・特にそのように感じることはない
- ・年配の考えがそのまま受け継がれている点。

問 41 あなたは今後、男女がともに家庭生活や職業生活を営み、地域活動に積極的に参画していくために、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(○はいくつでも)

1. 学校教育で男女平等や相互理解のための学習を推進する
2. 男女均等の職業教育や職業訓練を充実する
3. 母性保護のため、女性の健康対策を推進する
4. 保育所や夜間保育などの保育サービスや学童保育を充実する
5. 障害者に対するサービスを充実する
6. 高齢者や病人の介護サービスを充実する
7. 各種ボランティア活動に関する情報提供など身近な情報を充実する
8. 環境保護、まちづくり、福祉などの活動を行う団体等と連携・協力し活動する
9. 市の広報誌やパンフレットなどで男女の平等と相互理解について啓発する
10. 男女共同参画社会づくりのためのシンポジウムや地域での懇談会を開催する
11. 各種団体の女性リーダーを育成する
12. 市の各種審議会委員などへ女性の委員を積極的に登用する
13. 労働時間の短縮などにより、仕事以外の活動に参画できるよう働きかける
14. 相談窓口を設ける
15. 男女共同参画社会づくりを推進する女性や男性による市民活動団体を育成・支援する
16. その他 ()
17. 特にない



◆男女共同参画に関する、ご意見や感想などがありましたらお書きください。

- ・ここ2、3年は中止したほうが良い。
- ・コロナに限らず誹謗中傷があること自体が問題。どこにでも誹謗中傷はあるものですが、田舎の良い所、悪い所と思います。個人情報も大事だが、コロナになっても堂々と言える世の中であって欲しい。
- ・コロナの感染が4波へと広がり男女共同参画の行事にとどまらず、諸活動が制限され、未だ籠り___を強いられ孤独に過ごす人が増えている。今、官民一緒になってすべきはオリンピックではなく・コロナウイルスの感染を終息させること、医療崩壊を防ぐことだと思う。
- ・コロナはインフルエンザと同じ。接種してもなる人はなる。囚われすぎやともいます。
- ・コロナ騒動で女性が多く失業するなど被害を受けたとの報道があったが、これは共同参画に影響があるのではなく、その道でこれを反省して共同参画を是正する契機としてほしい。
- ・パート等は女性が多いのでコロナ禍では失業しやすく経済的に困窮し共同参画が遠のく。
- ・影響については分からない
- ・学校が休みになり、子どもを見ないといけませんが、共働きをしてるとどっちかが休まなくてはいけなくなります。その際、女性が休まなくてはいけない雰囲気にとどめてもなっていると感じました。
- ・活動の制限
- ・貴重な休日に、通常の家事一般に加え、女性が一人で買い出しに行くような役割分担になり、負荷が高い。
- ・高島でのテレワーク推進、移住促進の基盤整備を。
- ・在宅勤務が増えた事により、やはり「名も無い家事」の担い手が女性に多く、負担がかかっていると思います。
- ・集まって意見交換することが難しいのでもう少し時間がかかると思います。

集まるのが難しい

- ・新型コロナウイルス感染症による直接の影響があるとは思いますが家族が感染すると高齢者の介護等に影響が出てくると思います。
- ・男女ともに正規職員であれば良いが女性はパート等での働き方を考えるとコロナ禍の中では辞めざるをえない立場になってしまうのではと思われる。男性は一家の働き手との考え方がある。
- ・男女に関係なく今は討論しにくい。
- ・男性が家庭に居る時間は少し増えたのかなと思います。そこで家事をするしないは家庭により大きく異なると思います。
- ・地域での活動の制限、研修会などの開催ができない。
- ・日々、行政の立場から市民の安心・安全の目線に立って業務を進めていただいていることに感謝しております。この高島市には若い方の雇用が大切です。人口減少にならぬよう働く場をとにかく多く提供できる町づくりであってください。
- ・オリンピックの森発言を機にして、日本の女性の社会活動の世界レベルとの比較上の遅れがマスコミで騒がれたがかなり上滑りの捉え方に思う。日本の男女の役割分担は近くは江戸時代以降のやり方に基づいているのであり決して差別しているのではないと思う。その辺を考慮して進めないと単に帳尻合わせになってしまう。
- ・コロナの影響などで気持ち的にも下降気味になりがちなのと30代40代的にもまだまだ充実した日々を過ごしたい気持ちがあるので年代別のイベントなどの情報をピックアップして欲しいと思いました。

- ・「男女共同参画」の言葉が固い。ゆるいことが良いとは言わないが、まずとつつきにくい。
- ・シンポジウムや地域での懇談会の開催日は土・日曜日にしてほしい。（会社勤めがあるから）
- ・ずいぶん昔に比べたら女性の活躍の機会も増えていると思うし、男性の家事育児の参加率も上がっていると思います。ただ現実的に仕事と家事育児で余裕がなく、これ以上の負担は避けたいと地域活動などには積極的になれない女性も多いと思う。（うちの区の自治会のメンバーはすべて男性になっている）家族の代表という考え方でいいと思う。働いていると頼れるのは保育園だが、その先生も働き方改革で守られなくてはならなくて、サービス？が悪くなってきていると思うこともあった。職場でも男女平等に評価されるが、昇進の機会があっても、負担が増えることから出世を望まない女性もいると思う。そういう面では男性が負担を強いられているのかもしれない。基本的には夫婦のできるほうがしたらいいと思うし、お互い感謝の気持ちを持つことだと思う。最後に強く思うのは専業主婦はもうなくしてって、みんなが当たり前に働いてる世の中なればいいと思っていて。昔の「結婚したら専業主婦」だった時代が今の女性の働きにくさ、家事育児の負担の多さにつながっていると思う。女性も仕事をしてるのに、専業主婦の時のようにできるわけがない。
- ・どんな性格の人や人柄の人、みんなが行きやすい話しやすい「場所」ができたらいいいと思います。高島市はお年寄りが多いので男尊女卑の風習が根強い。都会の人を移住を促進し、新しい風的なものを入れないとなかなか変わるの難しい
- ・高齢者には男尊女卑の意識が強く攻めることは困難であると思われます。育てられ方が大きく影響していると思います。役割分担をしながらの家庭生活の営みを子供に伝えること、学校教育の中で男女共同計画についてしっかり学ばせることが将来を担う子供たちにとっても大切だと思います。今、地域の役に席を置いています、昔から区長・副区長・会計は男の方です。それに何の違和感もありません。私達、地域婦人会はすでに無い地域もあります。年2回の掃除（会議所内の掃いて拭く、トイレ掃除、ガラス拭き、草取りetc）は男の方がしておられることは無く、それにより一定の金額を婦人会に入れてもらっています。活動費が平等に配られるのなら、掃除も平等であるべきだと思います。
- ・今の若い年代はそれほどではないと思うが年配の方とか上の立場にある方々には今尚男性上位という思いを持っている方が多い様に思います。そういう方々に対しての意識改革を進めていかないといけないように思います。
- ・今回に限らずアンケートの選択肢に困ります。（選択肢の文言が適切でないという意味ではないです。）性差による違い（力仕事は無理だが細かいことはできる或いは逆、と平等ということについて悩みますし迷います。
- ・仕事の出来る人は男女関係なく地位も収入も上がるようにしたらどうでしょうか
社会はほとんど男女の違いや、ここは男でないととか女でなければなどの意識はほとんどなくなっている。しかし、女性の中に長になろうとか自治会長になろうとか、管理職になっていこうという意識がまだまだ少ないように思う。そういう意識を育てることと、又、誰でもできるという仕事にしていけるといいと思う。
- ・女性の社会進出は大切なことだと想う一方女性だからこそ家庭を守れるという誇りをもっと認識できる社会であるべきだとも思います。私の母はずっと（産休を除いて）仕事をしておりました。正直淋しかったです。幼い頃個人差はあるにせよ、やはり母と子、もちろん父と子も共に過ごす時間はかけがえのないものだと思います。子育てで女性が仕事を諦めるという感覚が不自然な社会の生み出した感覚なのではと思います。仕事に打ち込める時期、子育てを楽しめる時期を経て、社会復帰できる補償があればいいのではないかと思います。

・女性蔑視などの社会的慣習は依然として世の中に蔓延っているし、それを取り除くのに意識改革などの弱い政策はほとんど無意味なように感じる。本当に男女共同参画を進める気があるのなら、形だけでなく女性や若者の意見を十分に採り入れた大規模な組織改革が必要だと思う。

・小企業または少人数の職場では福利厚生面でまだまだ落ち着いていないと思います。また田舎では古い慣わしがあるのも事実です。しっかりした考えを持って一人ひとりが取り組む必要があると思います。

・男と女は何が違うのか？わかりますか？果たして10人の会で5人5人の男女で話し合うのがいいとは限らない。というのが小生の意見です。

・男の老人が問題なのです。その年代がいなくなれば世の中は変わる。

・男女が社会のあらゆる分野で対等なパートナーとして社会に参画する。このことは重要であると思うが、片方でそれぞれ男女が得意分野で自分の才能を発揮することも大切ではないかと思う。どの分野においても1対1で仕事の内容も同じなのが果たして本当に男女平等なのか私は疑問を感じる。

・男女にこだわらず、個人の能力に応じてその能力を発揮できる環境づくりが必要と多いです。

・男女にはそれぞれ違った特性があり、性差による得手不得手があることから役割が決まってきたのは理にかなったことでもあるため、男性が必ずしも家事を担うことが必要というわけでもなければ、男性の仕事を女性が半分請け負うことも難しいことであると考えます。例えば女性は生まれ持って人の世話をすることに向いた性質があることや逆に男性にはどちらかといえば不向きであることなど、性差と徳分についての理解を深めた上で進めていかなければならない分野だと感じています。日々の負担を相手に押し付けるというマイナスなイメージとして広がらないことを願います。

・男女を分けることが間違っていると思います。個人その人なりを評価して共に働く。

・男女共同参画おおいに賛同し、実際長年そういう考えで働いてきました。しかし、時間外にまで仕事が及ぶとどうしても自分の中で”子どもを犠牲にできない”という気持ちが膨らみます。夫婦ともに帰りが極端に遅い日が続くなどは、やはり子どもが犠牲になっていると思います。学校から帰るところは「家庭」であってほしい。仕事に励む両親を応援し、まだ自分自身も仕事をする余力はあると思いつつも、孫との時間を大切にしたいと日々過ごしているところです。

・男女共同参画の意味がわかっている人がたくさんいらっしゃると思います。現代の夫婦は家事も平等でやっている夫婦が多く感じ、良いことだと感じます。もっともっと市民に呼びかけが必要だと思います。以前は各団体に呼び掛けされていましたが今は役員だけがわかっているそうなので見直しが必要だと思います。

・男女共同参画社会とは簡単にいうものの、なかなか難しい事がある様に思われる。やはり昔からのこともあり女性は家庭に、男性は働き手としてのイメージがあり……。また男性と女性の体の事もあるので。女性がキャリアウーマンというか男性と同じ様になると結婚するよりも第一線に身を置き男性を上回る仕事をやってみたい気になるのではと思う。育児・子育ても十分な制度はあるが、なかなか取得するには気が引けるかとも思われる。男女共同参画社会になるには（関しては）それをサポートする様な支援が必要になってくるのではと思われる。

・男女平等の意味がわからない、そもそもが違う

・地域の役割（世話役等）や学校のPTA活動等はお互い様なので女性が引き受けることも多々あるが家事（主に食事の支度）等は以前からの習慣で女性が担っている部分が多い。売り場で出来合い物が増しているが、家族の健康を考えると女性が主に支度することが多い。その部分で女性の負担があるので時間的に社会的に共同参画を進めることが難しい一つになっている様にも思える。

田舎の家に嫁ぎ旦那の両親と同居しておりますが、昭和真っ盛りに生活していた両親には「男女共同参画」は全く理解してもらうことはできなく男尊女卑生活は止まりません。寿命が尽きるのを待つばかりです。社会的には浸透している事柄ですが歳老う両親には世の中の変動について行けそうにありません。家庭内に男女平等なんてあり得ません。

・年代によってジェンダーの重さはまちまちで、例えば60代以上の私達は一世代前の親から「男は仕事、女は家庭、女が仕事をするのは不孝」とすり込まれ資格取得も本人だけではなく、親の同意が求められる時代がありました。その為、外の仕事ができず、今の年金額にまで影響がでているわけです。つまり、この問題は根本的に世代間を通じて浸透しなければならない難しさを持っていると思います。まずは意識改革が必要だと思います。そして若い男女それぞれが独立した意識や生活、家事能力を有する事が特に大切だと思います。

・年代間で異なる考えのまとめ方

・保育園に希望すれば必ず入れるように。全ての手続きをオンラインでかつマイナンバー以外の個人情報を入力させないように。おむつや袋の名前書きなど保護者の負担を減らしてほしい。自治会役員の半数を女性にし補助用件にしてください。

・無理にするのではなく自然に任せる。

・役所がもっとやる気を。